京都の通りをデザインする

三条通りを中心とした新たな京都観光の姿

平成 25 年度

公益社団法人　京都デザイン協会

三条通りを中心軸とした新たな京都観光の姿　＜目次＞

はじめに

1、京都をデザインする

2、「通り」をデザインする

Ⅰ）三条通りの現況から観た魅力

1、京都観光の中心軸として「三条通り」の魅力

2、都市を象徴する中心的な「通り」としての三条通

3、三条通りとスムースに連携できる公共交通網

4、三条通りと交差する河川と運河

5、三条通りの地区別にみる特性

A　山科四宮地区の特性
B　御陵地区の特性
C　九条山地区の特性
D　東山地区の特性
E　鴨川・堀川地区の特性
F　堀川・千本地区の特性
G　千本・西大路地区の特性
H　西大路・天神川地区の特性
I　太秦地区の特性
J　嵯峨街道地区の特性
K　嵯峨・嵐山地区の特性

Ⅱ）デザイナーが発見した三条通りの見どころ

（地区別の特性）

A　山科四宮地区の見どころ
B　御陵地区の見どころ
C　九条山地区の見どころ
D　東山地区の見どころ
E　鴨川・堀川地区の見どころ
F　堀川・千本地区の見どころ
G　千本・西大路地区の見どころ
H　西大路・天神川地区の見どころ
I　太秦地区の見どころ
J　嵯峨街道地区の見どころ
K　嵯峨・嵐山地区の見どころ

Ⅲ）三条通りの中心軸に向けての提案

1、三条通りが中心軸となるためのデザイン提案

2、地区別デザイン提案

A　山科四宮地区の提案
B　御陵地区の提案
C　九条山地区の提案
D　東山地区の提案
E　鴨川・堀川地区の提案
F　堀川・千本地区の提案
G　千本・西大路地区の提案
H　西大路・天神川地区の提案
I　太秦地区の提案
J　嵯峨街道地区の提案
K　嵯峨・嵐山地区の提案

＜はじめに＞

1、京都をデザインする

京都は綜合的な芸術文化の都市です。

京都人のもてなしの精神を持った伝統ある生活文化、
町衆が協力して継承する祭や年中行事などのイベント文化、
平安から現代に続く都市と建築の文化、
伝統工芸の技に支えられるモノづくりの文化
四季折々の自然の恵みと調和した食文化
これらの活きた文化を発信し、人々と交流する情報文化など。
このような綜合的な文化が 1200 年の長い歴史のなかで、育まれ、伝承され、
誇るべき「綜合芸術文化都市・京都」として成熟してきました。

しかし、一方で、時代の持つ新しい波に晒され、分断され、
消え去りそうな文化も 少なくありません。
ときには時代と闘い、またあるときには時代とシクロしなければなりません。
そのためには、伝統を継承しながらも、自らの新しいエネルギーの補充と注入が必要です。
つまり、都市は生きています。

この生命ある都市のエネルギーの補充と注入の一つが「デザインする」ことです。
「デザインする」とは広義には「計画、企画する」という役割を持っています。

本協会は、京都のあらゆる文化のデザインジャンルを総合的に見直し。
具体的には
地域や通りなどの景観や建築を通じての環境のデザイン、住民の生活文スタイルのデザイン、
新しい時代のモノづくりや情報デザイン、などを複合的に展開し、
「綜合芸術文化の都市・京都」を総合的にデザインし、
提案することであると考えています。

2、「通り」をデザインする

京都は条里制の都市計画がしっかり守られていて、
それぞれ個性的な「通り」が西陣織のように縦糸と横糸となり、
歴史、文化の伝承が町内や地域に面的にも広がって、それぞれの界隈を形成しています。
京都の魅力は 1200 年の歴史が積層されていて、「通り」を歩いているといろんな時代の
記録や記憶が呼び覚まされ、何度訪れても新たな発見があります。
何世代も伝承された生活文化に引き込まれます。
つまり、生活文化は「通り」をベースに育まれ、継承されてきました。
「京都をデザインする」ためのきっかけを、「通り」の持つ街の役割に注目し、
そのエネルギーを活性化するためのデザインが必要と考えます。

個性的な多くの通りを検討した結果、
「三条通り」が京都にとって 大変大きな役割を持っていることに気づきました。

江戸時代の東海道の起点でもあり、明治の近代化を支えた蹴上発電所、
寺町以西の近代建築群など、時代の節目に 新しいエネルギーを蓄え発展してきました。
今日では条理制時代の通りが時代の変遷とともに延長され、
東は山科四宮の旧三条 (旧東海道) あたりから、
西は太秦を経て嵐山の渡月橋北詰あたりまで繋がっています。

この約 15km のおよぶ現代の三条通りには
多くのの商店街があり、それぞれ地域文化と共存しながら、個性を発揮しています。
また、南北に流れる京都の殆どの川と交差し、通りに自然のリズムを与えています。
加えて、東の京阪・京津線 (四ノ宮 ~ 三条京阪)、地下鉄 (山科 ~ 太秦天神川)、京福電車 (三条口 ~ 嵐山)、
JR(山科駅、二条駅、嵯峨嵐山駅)、阪急 (嵐山駅)、京阪 (三条駅) などの交通網との特徴ある連携がみられます。

この三条通りを「通りをデザインする」の対象として、調査、提案をすすめました。

Ｉ） 三条通りの現況から観た魅力

1、京都観光の中心軸として「三条通り」の魅力

・京都は「綜合芸術文化都市」と同時に、日本で一番大きな「観光都市」でもあります。
京都観光の最大の魅力は、市中の至る所に観光資源があり、今なお、資源が発見されていることです。
・しかし、大観光都市であるにかかわらず観光ルートに軸がありません。
パリのシャンゼリゼ通りとその延長線上の通りはパリの中心軸になっています。
・「三条通り」を中心軸とし、観光ルートの拠点軸とすることで、観光客それぞれの観光ルートを作り出すことが出来ます。
利用者側が発見するという新しい観光スタイルも成立し易くなります。

■ マイカー観光に変わって

・春、秋の観光シーズンになると、マイカーによる観光地の渋滞は、観光そのものを劣化させています。
行政によるマイカー自粛促進もまだ軌道に乗っていません。
・京都観光の魅力は、歩いて、自分だけの観光ルートを発見するところにあります。
・三条通りが中心軸になる根拠の最大の条件が公共交通機関（JR、地下鉄東西線、嵐電など）の存在です。
・旧三条四ノ宮～嵐山までの、ほぼ 15km の道のりを公共交通機関と併用しながら、
京都観光のための「歩く街道」として位置づけます。

■三条通りが中心軸になるためには、

1） 歩いて散策する三条通りの魅力の発見と
2） 三条通りの新たなデザインの提案が必要です。

2、　都市を象徴する中心的な「通り」としての三条通り

■三条通りが魅力的な中心軸となるための条件は、

a　歴史文化と現代の生活文化の連携した情報があること。 ・・・・・・・・・・・・・　南禅寺、広隆寺、天龍寺など古刹をはじめ、特に古代、中世、近世、近代の遺産が今なお市民の生活の中で活用されている。

b　公共交通機関が整備されていること。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　市民の足である地下鉄、嵐電が走り、三条通りのどこからでも乗り継げる。
近郊からは京阪、阪急が。全国からはJRと充実している。

c　魅力的な空間があって、飲食や買い物や散策が出来ること。 ・・・・・・・・・・・　京都市民、地域住民に愛されている８つの商店街が三条通りの中にあり、歩く通りとして常にどこかしこで賑わっている。

d　あらゆる世代に向けた新しいトレンドや情報が発信されていること。 ・・・・　特に、鴨川の大橋から烏丸間は多くの市民と観光客が往来し、新しい京都ブランドの発信の中心となっている。

e　京都の中心軸としてのまとまったイメージが構築されること。 ・・・・・・・・・・・　四ノ宮から嵐山までの約15kmに、平安以来の各時代をつなぐストーリーが潜んでいる。
京都の未来につながる三条通りのイメージが構築される可能性が高い。

3、　三条通とスムースに連携できる公共交通網

■　三条通りでの散策をバックアップし、市民の足となっている、地下鉄と嵐電と京阪・京津線

- 京阪京津線（四宮～御陵）・…　大津市内の浜大津、石山、坂本、などと繋がる
- 地下鉄東西線（山科～太秦天神川）・…　三条通りと平行して運行。三条通りの散策に便利。
  宇治、醍醐などと繋がる
- 嵐電（西大路三条～嵐電嵐山）・…　道路との併用区間があり、路面電車となる。
  三条通りと平行して運行。市民の嵐山観光の足となっている。

■　近郊からの三条通りに連携する私鉄

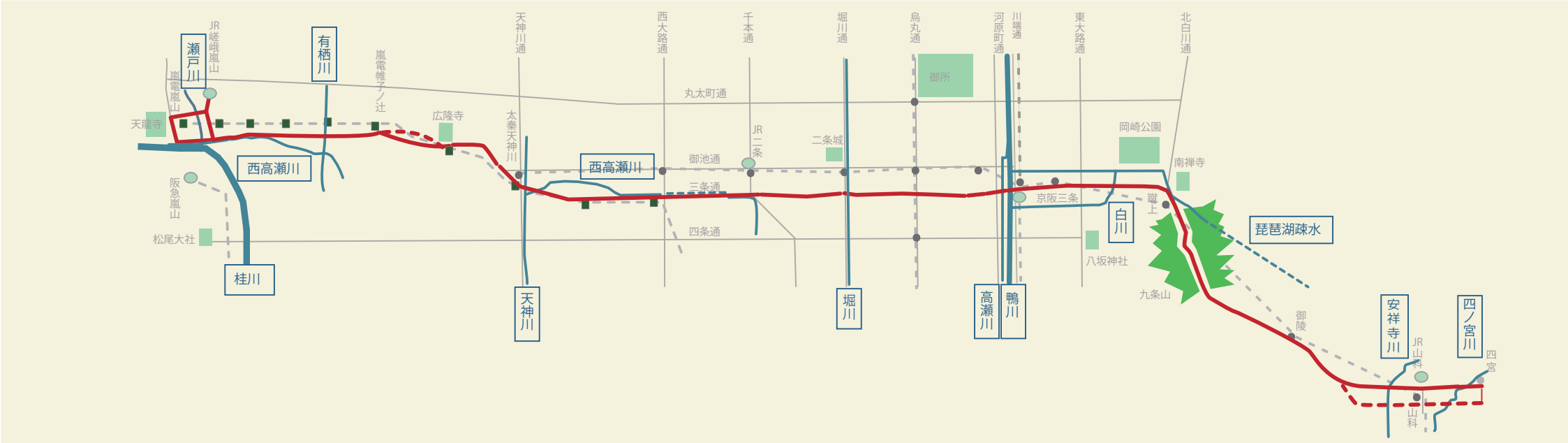
- 阪急（梅田～嵐山）・…　大阪梅田、神戸三宮、京都線沿線などと繋がる。
- 京阪（淀屋橋～京阪三条）・…　大阪淀屋橋、京橋、本線沿線などと繋がる。

■　全国からの三条通に連携するJR

- JR山陰線（二条、嵯峨嵐山）・…　京都北部と繋がる。
  特に二条では地下鉄との連絡がスムースである。
- JR東海道線+地下鉄烏丸線（京都駅+烏丸三条）・…　日本全国に繋がる。
  地下鉄利用で三条通りまでスムース。
- JR東海道線（山科）・…　特に滋賀県内のJR沿線と繋がる。
  地下鉄との連絡がスムース。

4、　三条通りと交差する河川と運河

●それぞれの河川の流れ、水面、水際、川風など、都市と自然との接点が三条通りの魅力を高めている。



○四ノ宮川　大津市から山科四ノ宮へ流れる、山科川の支流。やがて山科川左岸に注ぐ。
旧三条通では川幅2mほどで、三面張り、水量豊で、透明度は高く、小魚を散見。
橋はコンクリートの欄干。近くに山科地蔵を祀る徳林寺がある。

○安祥寺川　山科区安祥寺山などから水を集め、毘沙門堂脇を南流、山科盆地に出てからは
山科市街地を貫流、旧三条通、三条通を経て山科川右岸に注ぐ。

○琵琶湖疎水　琵琶湖疏水は、第1疏水（1890年に完成）と第2疏水（1912年に完成）を総称したものである。
両疏水は、水道用水、水力発電、灌漑、工業用水、水運などに使われる。
その電力は日本初の電車（京都市電）を走らせるために利用され、
さらに工業用動力としても使われて京都の近代化に貢献した。
水運は、琵琶湖と京都、さらに京都と伏見・宇治川を結んだ。
蹴上付近では、浄水場やインクライン、発電所が観られる

○白　川　大津市山中町の山麓（俗に「白川山」）に源を発し西へ流れ、鹿ヶ谷付近で南西に転じ、
南禅寺の西側で琵琶湖疏水を併せる。
神宮道の西で琵琶湖疏水と分かれ、三条通を南下し、四条通の北側で鴨川に合流する。
三条通以南は両岸に道路があって、散策しながら柳並木と水面のせせらぎが絶景である。

○鴨　川　上賀茂神社、下鴨神社脇を南南東に流れ、賀茂大橋手前で高野川と合流する。
そこから京都市内を真南に流れ、三条通を南下し、四条大橋付近から南西流に転じ、
伏見区下鳥羽で桂川に注ぐ。
三条通近辺では夏季になると河原での散策や納涼床を楽しむ人で賑わう。

○高瀬川　江戸時代初期（1611年）に角倉了以・素庵父子によって、
京都の中心部と伏見を結ぶために物流用に開削された運河である
二条大橋の南で鴨川西岸を併走する「みそそぎ川」（鴨川の分流）から取水する。
二条から木屋町通沿いの西側を南下し、十条通の上流で鴨川に合流する。
三条小橋付近は川のせせらぎと川沿いの柳並木が川風を伴って心休まる景観となる。

○堀　川　平安京造営にあたって、近くの自然の川を改修して堀川小路に沿う運河としたのが堀川の起源である。
現在水流は暗渠化されており、地表に水流は見られない。ただ、今出川通の南で河川が現れるがほぼ水流なし、
押小路通から南は再び暗渠となり鴨川と合流する。従って三条通では橋すら無い。

○天神川　鳴滝の沢山東麓に発し、北野天満宮の西方を南進する。花園付近御室川を併せ、西高瀬川と交差。
御室川合流から西京極まで天神川通と並行してさらに南流し、南区吉祥院下ノ向町で桂川に注ぐ。
「天神川」の名は、中流で北野天満宮の西を流れていることによる。
この付近の三条通は交通量が多く人通りも少ない。橋から川の流れを楽しむ環境になっていない。

○有栖川　嵯峨大覚寺北方の観空寺谷から渓流となり，
下嵯峨を経て嵯峨野で西高瀬川と交差し，そのまま南下して桂川に注いでいます。
有栖川の「有栖」とは、荒樔（あらす）荒瀬（あらせ）の意であり、祓（はらい）を行うところのことである。
この付近の三条通も交通量の割に道幅が狭く、橋から川を望む環境が出来ていない。

○瀬戸川　百人一首等で有名な小倉山の北方の渓谷を水源とし，嵯峨鳥居本から曼陀羅山の南麓を経て，
京の代表的観光地"嵯峨野の里"を縫うように流れ，清涼寺釈迦堂の東を南流して，清流が桂川に注いでいます。
その名前は，後嵯峨上皇の亀山殿の一院，芹川殿が瀬戸川のほとりにあったことから，古名"芹川"とも。
この付近は雄大な桂川に眼を奪われますが、橋から足許を見ると西高瀬川との立体交差など楽しく微笑ましい。

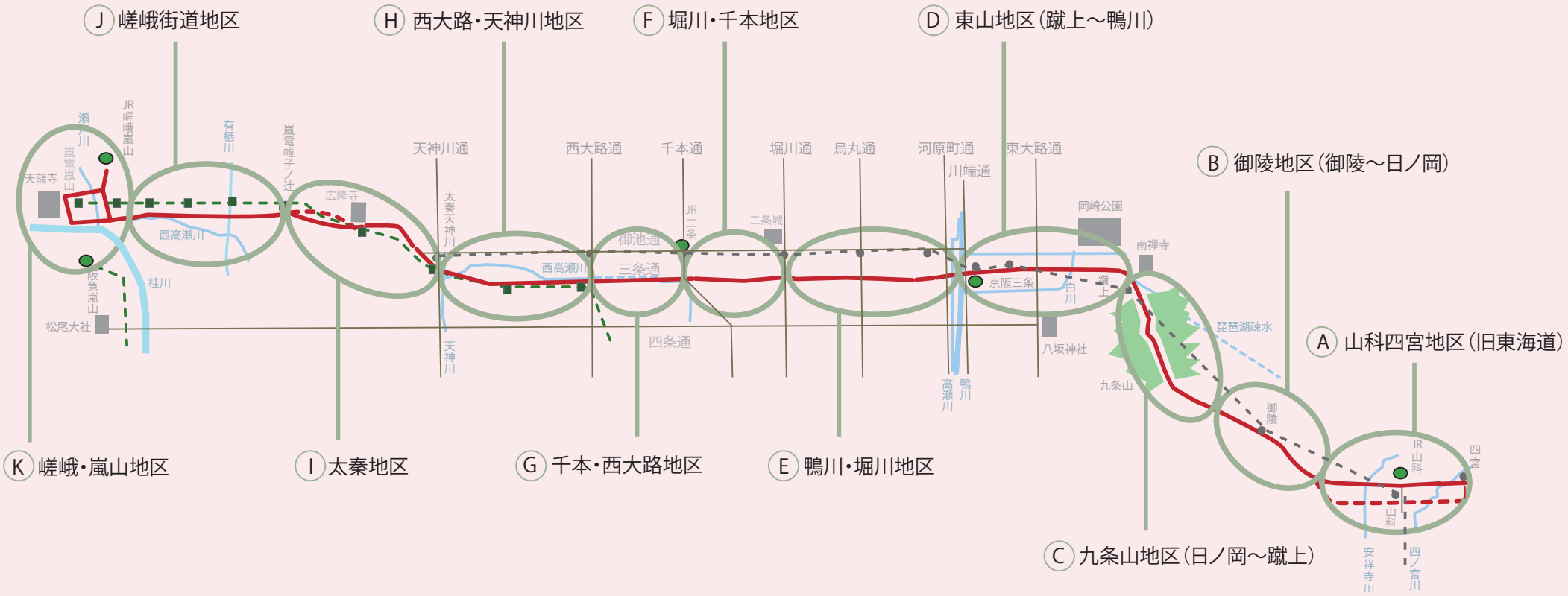
○桂　川　平安京造営の時、現在の右京区京北町の木材を京都に運搬するなど、桂川の流れは丹波と山城、
摂津の木材輸送によく用いられた。17世紀に角倉了以が桂川を開削し、現在の丹波町から下流の淀や大坂まで
通じ、船運が発達した。三条通から広い河川敷を通しての渡月橋、嵐山の眺望は広々として美しい。

○西高瀬川　大堰川によって運ばれた丹波地方の木材などを、京都側の終点である渡月橋上流から、
市中心部に直接引き込むための運河として、1863年に渡月橋上流～千本三条が開削された。
後、明治3年（1870年）、当時の京都府が引き継ぐ形で伏見の鴨川まで開通させる。
水運の役割を終えた今も、嵐山近辺では水流豊かに流れて近隣の街を潤している。しかし、天神川以東は
水流も少なく、特に千本通付近では川床も深くゴミなどが放置され、美しくなくなっている。

5、　三条通りの地区別にみる特性

- 延べ15kmある三条通りは地域ごとにいろんな顔をもっています。
  それぞれの地域の特性（道路構造、沿線の自然・交通・景観環境、歴史文化など）を整理し、
  A～K　までの11の地区に区分しました。

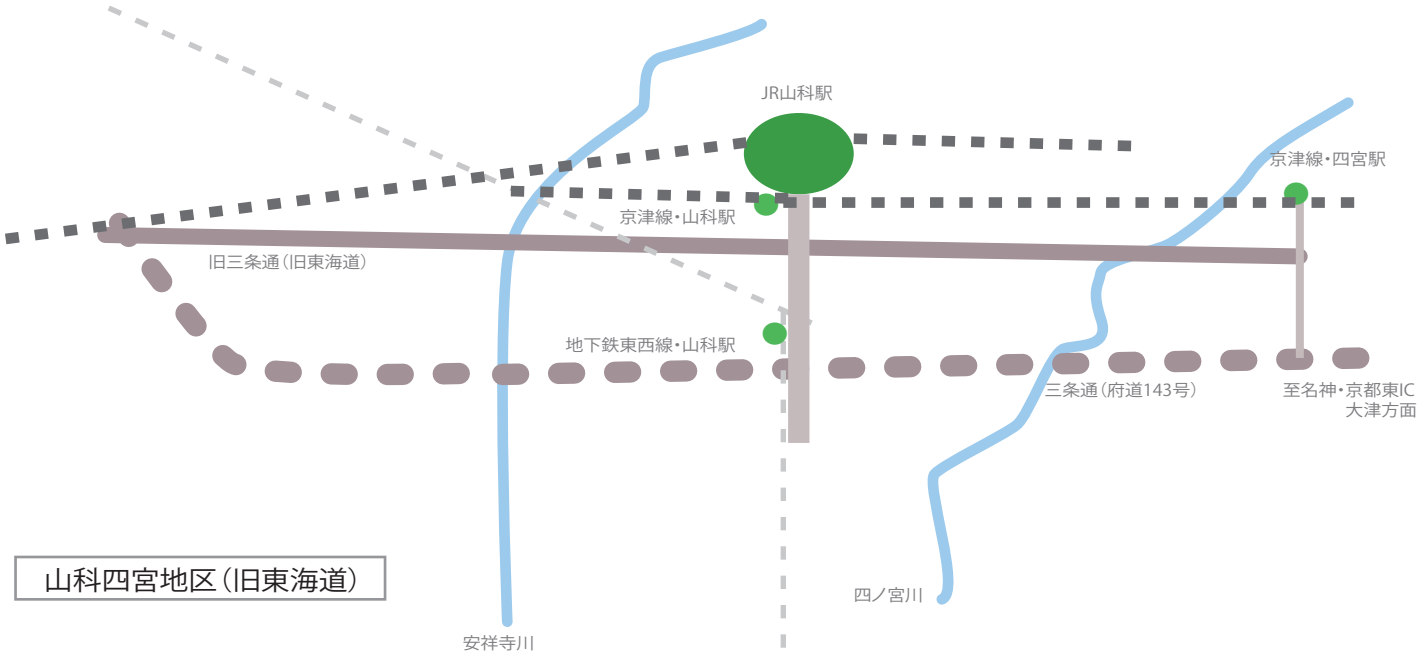
- それぞれの地区特性が魅力ある三条通りのネットワークとして繋がるかは今後の課題となります。



三条通り11区分図

A、 山科四宮地区の特性

・この地区は旧東海道（旧三条通）の四宮交差点からと三条通（府道 143 号）の四宮との二本の道路から始まり、
　西行し、1.7km 先で合流するまでの地区である。
・旧三条通沿いには京の六地蔵巡りの一つの山科地蔵を始め、旧東海道を偲ぶ史跡が多くある。
・三条通には名神高速道路の京都東 IC をでて京都に向かうスタート地点であり、京都観光のアプローチ的な役割を持つ。
・また、1998 年に山科駅前再開発事業で、ホテル、百貨店、複合商業施設、市民サービス施設などがオープンし、三条通りの東の拠点となる。
・と同時に JR 山科駅、京阪電鉄京津線四宮駅と山科駅、京都地下鉄東西線の山科駅が集中しており公共交通の利便性の高い地区でもある。
・歩く道としては旧三条通が望ましい。そのスタート地点を「旧三条四宮交差点」とする。
・旧三条通は、山科駅前通以西までの『四ノ宮商店街』と、以東の『山科三条街道商店会』の沿道になっている。
・ただし、旧三条通の道路幅員は平均９m 程で、沿道の商店との親近感は深まる。ただし、車の往来（往復通行）によって、
　歩行の安全性が損なわれている。

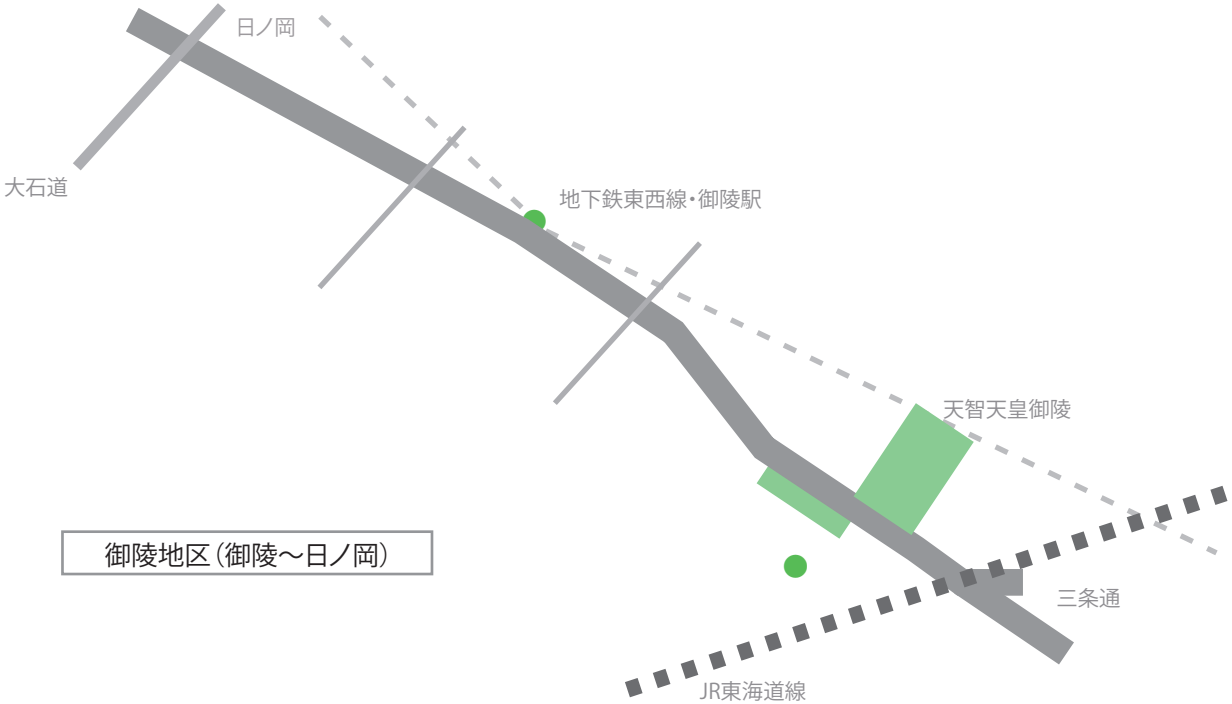


旧三条通四宮交差点

京阪電鉄京津線四宮駅

B、 御陵地区（御陵～日ノ岡）の特性

・旧三条通と三条通（府道 143 号）との合流地点から日ノ岡の交差点付近までの 1.1km の距離。
・三条通（府道 143 号）の道路幅員は平均で約 17m。車道が約 10m、歩道がそれぞれ 3.5m。
・この区間は 1997 年に地下鉄東西線と京阪電鉄京津線の地下乗り入れに伴い、京津線の路面電車が消える。
・名神東 IC と繋がるこの区間はかっては慢性的な道路渋滞に見舞われていたが、現在では日常的にはやや解消されている。
・沿線には廃線になった路線敷が地元の散策公園やポケットパークに再活用されていている。
・また、天智天皇御陵があって人々の散策の場になっている。
・しかし、沿道の建築群のデザインは不揃いで、並木もまばら。美しい道路とは云いがたい。



御陵地区（御陵～日ノ岡）

旧三条通と三条通（府道 143 号）との合流地点

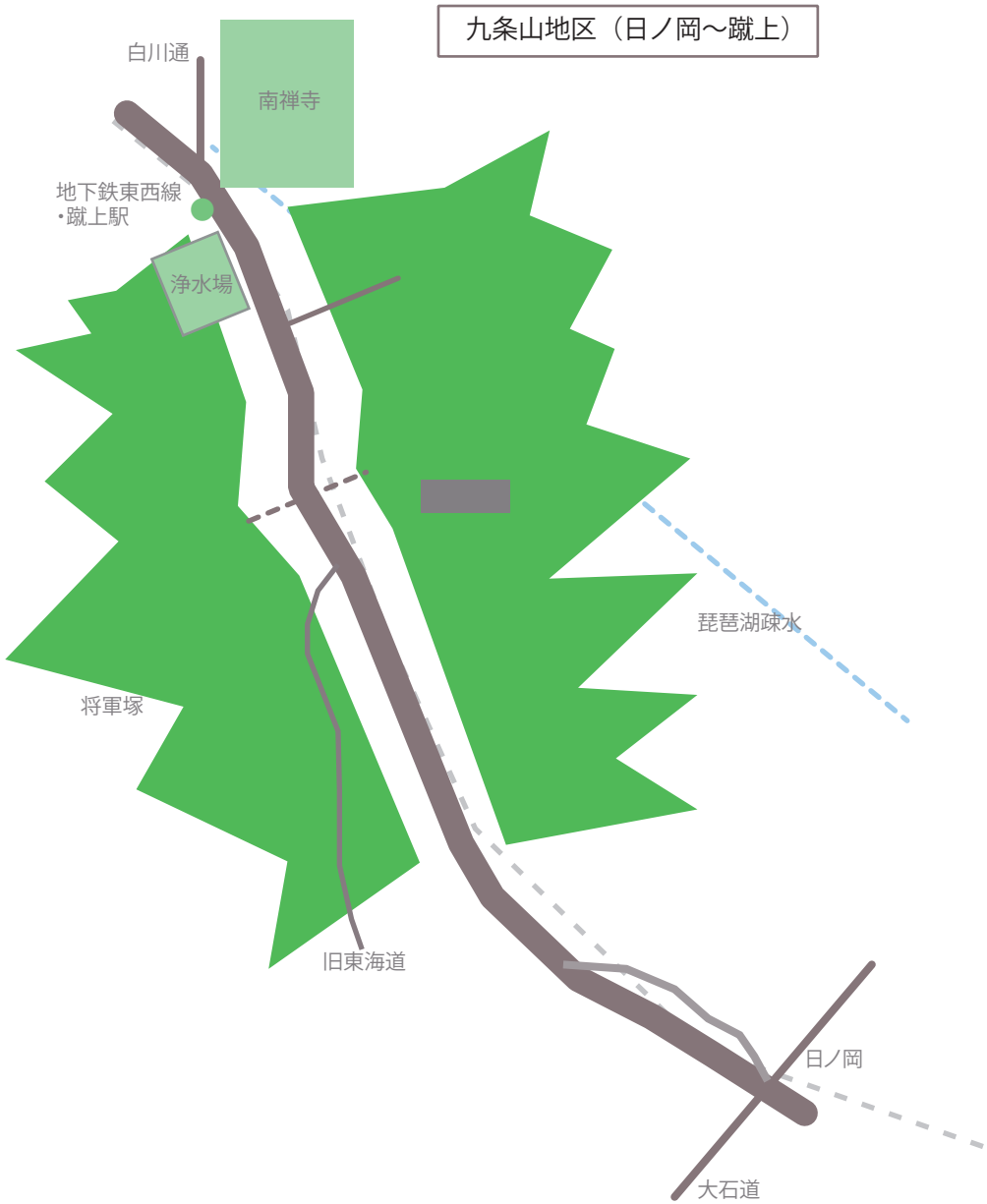
日ノ岡交差点

C、 九条山地区（日ノ岡～蹴上）の特性

・日ノ岡から蹴上までの約 1.6km は九条山越えとなる。
・沿線には民家も少なく緑の山間となる。
・途中には一旦離れた旧東海道が再び合流する。
・近くにある将軍塚は、桓武天皇が平安京の造営時、都を鎮める意味（王城鎮護）で、八尺（約 2.5m）の土（陶質）の将軍像（征夷大将軍坂上田村麻呂と伝承される）を作り、鉄の甲冑を着せ、鉄の弓矢を持たせ、太刀を佩かせて都のある西方に向けて埋めた所をいう。
九条山の名称は元九条家の所有地であったからと伝えられている。
・九条山を超えると洛中京都の街が見えてくる。
・蹴上近くには近代京都のシンボルである日本初の水力発電所や琵琶湖疎水のインクラインが見られる。
・また、琵琶疎水を利用した京都市の浄水場があり、その周辺の山にはツツジ苑が設けられており、開花の時期には一般公開している。
・この地区も京津線の地下化によって、道路幅員は往復４車線と広い歩道をを持ち、格好のウオーキングルートになっている。

九条山峠路

蹴上近くにある琵琶湖疎水の高架水路

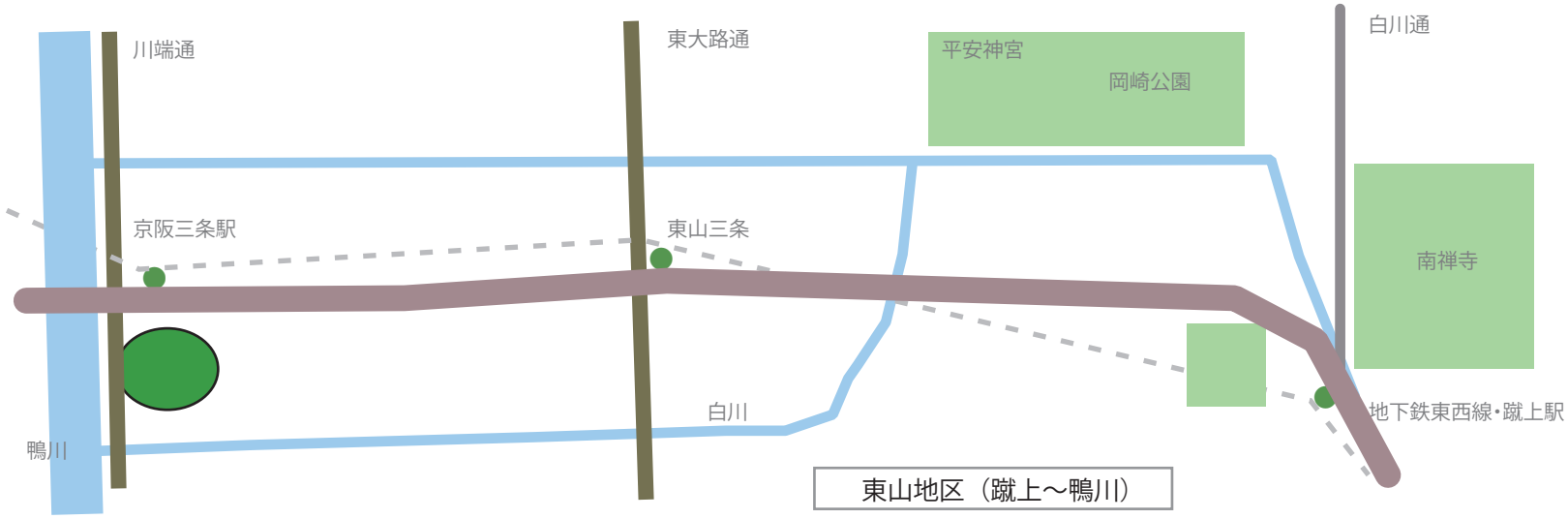


D、 東山地区（蹴上～鴨川）の特性

- この地区間は電線の地下埋設のお蔭で、道路上の空間はすっきりし、
  歩道も歩き易い舗装を施していて、約 1.6km ある。
- 旧東海道は断続的だが現三条通の南側をうねりながら走っている。
- 江戸時代の東海道五十三次では三条大橋が終点となっていた。
- 蹴上の南西には京の七口の関の一つ、粟田口の地名が残っている。
- 近くには粟田神社があり古来東山道・東海道を行き来する人々は旅の安全を願い、また道中の無事を
  感謝して当社にお参りされ、いつしか旅立ち守護・旅行安全の神として知られるようになる。
- 神宮道の交差点を北に臨むと遠くに平安神宮の朱色の大鳥居が見える。
- 平安神宮は平安遷都 1100 年を記念しての内国勧業博覧会（明治 28 年）が催された時の大内裏の
  一部の復元された建築で、博覧会後は桓武天皇を祀る神社として創祀された。
- また岡崎公園は内国勧業博覧会会場跡に文化施設が建設され、
  現在では京都の文化・観光・産業施設（京都市美術館、京都国立近代美術館、京都会館、京都勧業館、
  京都府立図書館、京都市動物園、岡崎グラウンド）が集まっている。
- その影響もあって、この地区は文化芸術の色合いが濃く。近辺にはギャラリーが多く、
  アート愛好家にはギャラリー巡りの楽しみの通りでもある。

電柱の無い三条通

神宮道の交差点から臨む大鳥居

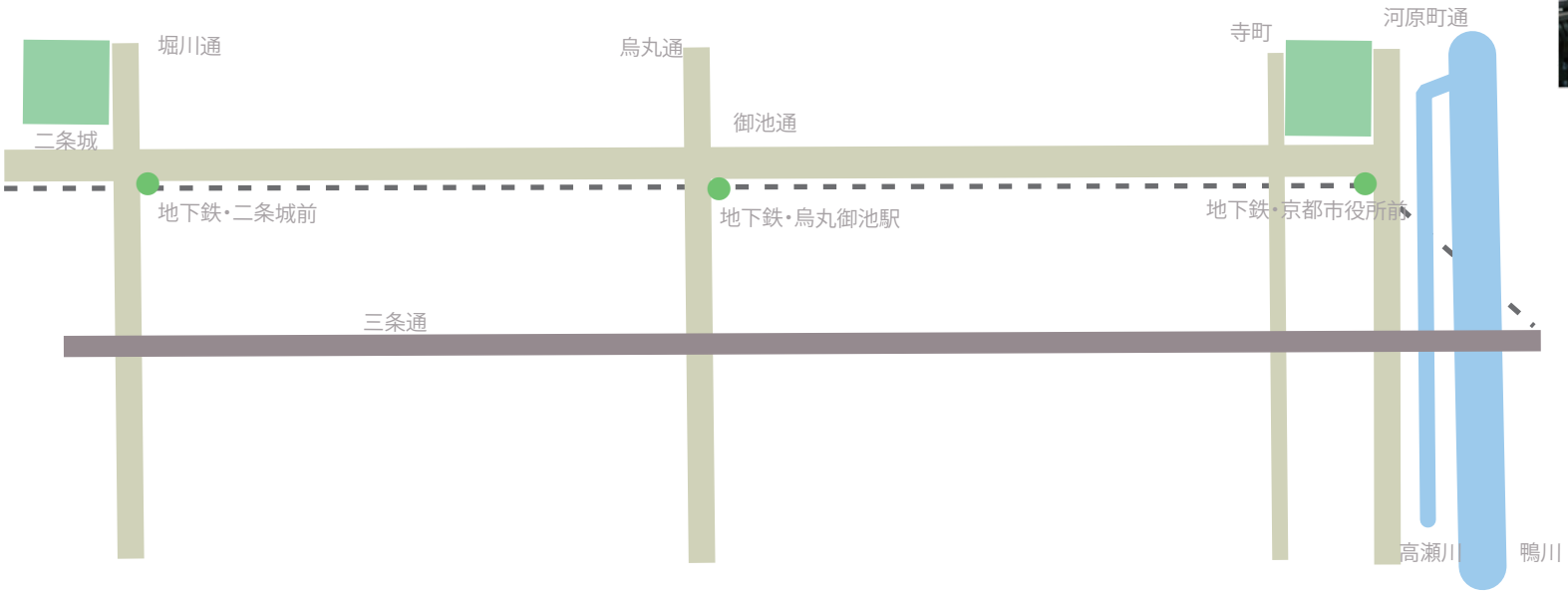


E、 鴨川・堀川地区の特性

・三条大橋から新町通りまでは、新店舗や老舗のショップやレストランが建ち並び、
　モール的街路である。
・鴨川の土手沿いの散策や高瀬川のせせらぎなどの自然の風情を経て、
　河原町通からのアーケードの三条名店街を抜けて、
　新京極通や寺町通と交わりつつ、重要文化財の近代建築群の間を通りぬけ烏丸通、新町通に至る。
・河原町通以西の道幅は狭くほぼ 9m 程度だが、交通規制もあって車の往来も少ない。
　従って、雑貨、ファッション、飲食店の店舗が建ち並ぶ繁華街であり、
　散策しながらショッピングを楽しむ観光客でにぎわっている。
・今後さらに烏丸通以西に向かって店舗が増えつつある地区である。ほぼ 1.9km の道のりがある。

近代建築群の建ち並ぶ三条通

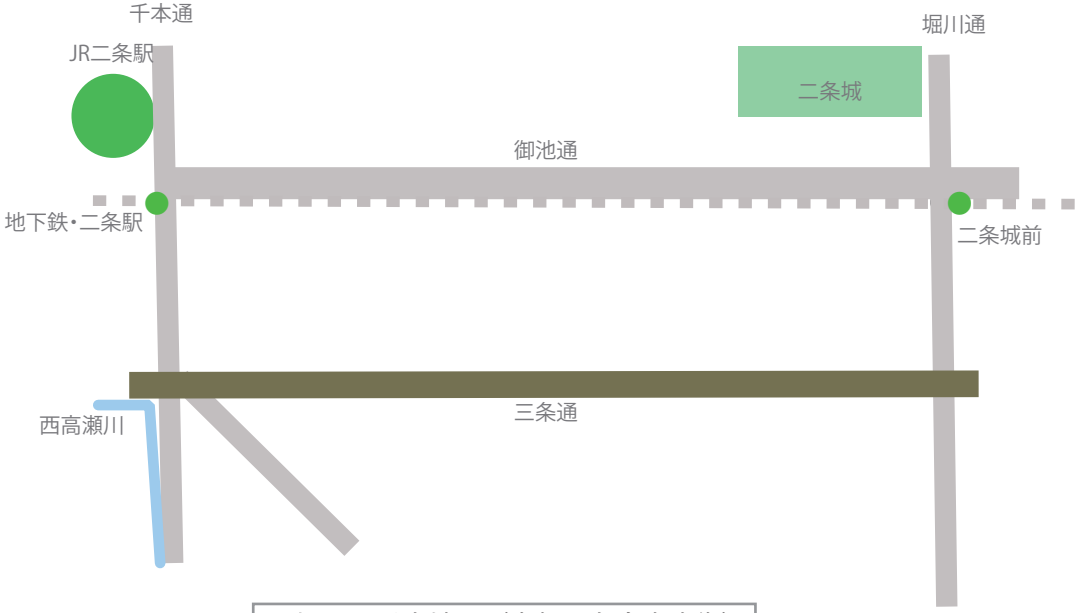
三条大橋



鴨川・堀川地区

F、 堀川・千本地区（京都三条会商店街）の特性

・この地域の全域が「京都三条会商店街」となり、全長 0.9km のアーケードが架けられている。
・近隣の住民に愛されている、近年珍しく元気のある商店街である。
・アテネオリンピックの金メダリスト・マラソンランナーの野口みずきさんが雨天時の早朝練習に
この長いアーケードを利用していたということで、“金メダルロード” ともよばれている。
・商店街の中程にある又旅神社（三条御共社）は祇園祭の三基の神輿がお揃いになる土地柄である。
三条みこし会は主祭神「素戔嗚尊」(すさのおのみこと) をお守りし、毎年神幸祭の 7 月 24 日の午後 5 時ごろから、
四条御旅所を 3 基の神輿が出発。市中を巡り、三条御供社で祭典後、神輿に明かりを入れ、
午後 9 時ごろから三条通を八坂神社に還幸。神霊を本社に戻す神事が行われることでも有名である。

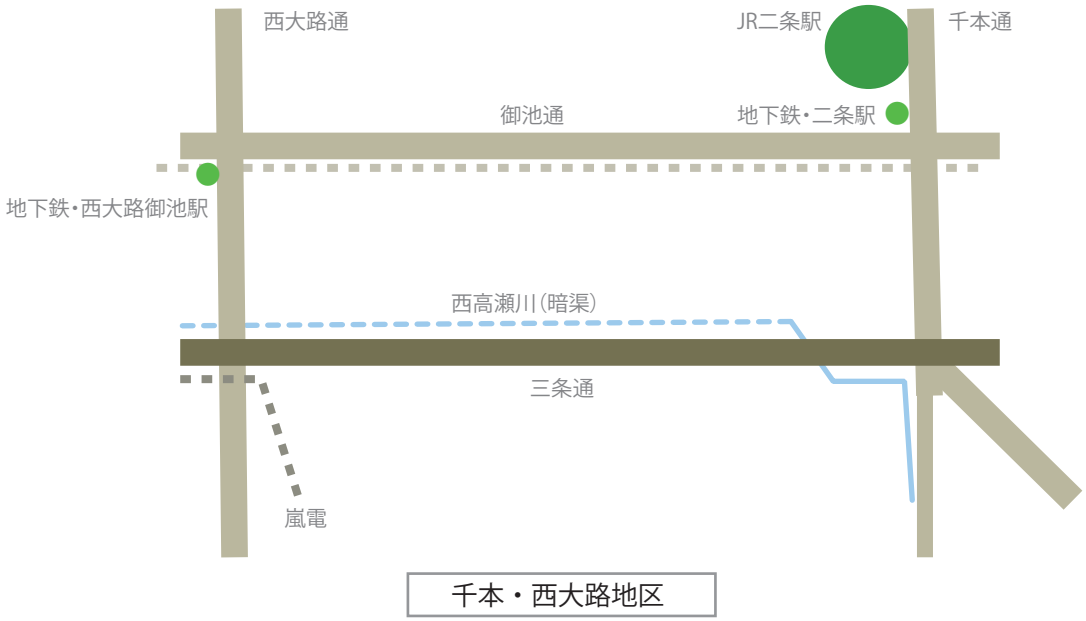


堀川・千本地区（京都三条会商店街）

アーケードが続く京都三条会商店街

G、　千本・西大路地区の特性

・かっての千本三条近辺は西高瀬川の水運を使って、京都北部の材木が集積された地である。
・現在は衰退しているがその面影が少し残っていて、材木センターをはじめ銘木店などが建ち並んでいる。
・道路幅は広くなって往復 2 車線車道と歩道が分離されている。
・道路の北側に平行して流れていた西高瀬川は現在暗渠になり、粗分道路幅員は広く歩道と平行して自転車専用道がある。
・しかし、この地区の 1 km ほどの区間に南北の辻が多く、その度に自転車通行注意の柵が設けられていて、景観としては見苦しい。
・千本三条のすぐ北の二条には JR 二条駅、地下鉄二条駅があって、交通の便は良く、周辺の人口は増えつつある。
・沿道の建物はデザインとしての協調も無く、雑然とした景観である。

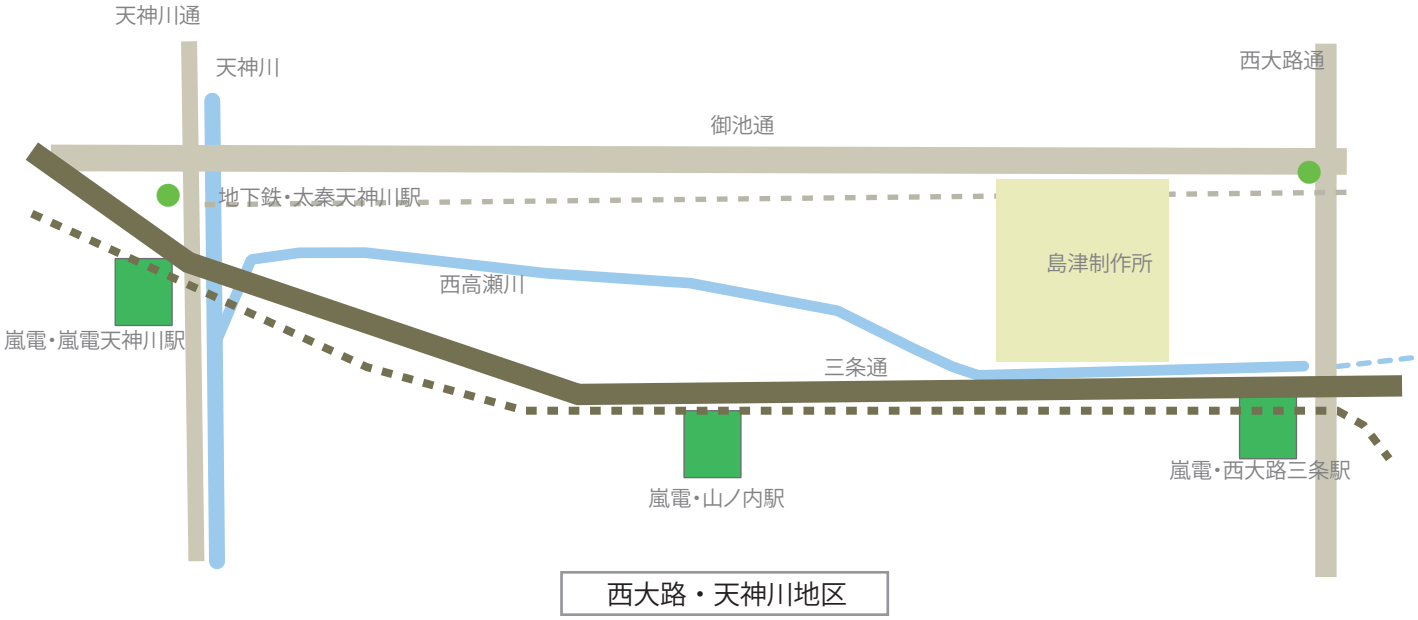


千本・西大路地区

写真右手には自転車通行注意柵が見える

H、　西大路・天神川地区の特性

・西大路通から一段と道路幅（幅員約４０m）が広がる。嵐電の路面電車が走る。
・京都唯一の路面電車敷地に三条口の細長い停留所がある。
・昭和時代にもどったかのような風景に一変する。
・沿線は島津製作所を始め工場などが多く建ち並んでいるが、西高瀬川の水流はほとんどなく、
　歩行者にとってはカラフルな嵐電の車両以外は、やや寂しい風景である。
・山ノ内停留所周辺は古い民家も建ち並んでいる。
・山ノ内という地名はかって比叡山延暦寺の飛び地境内として、山内（さんない）であったことからついた地名である。
・天神川の東に猿田彦神社がある。
・全長 1.4km のこの地区は神社や嵐電、西高瀬川などの道路景観を豊かにする要素がある。



西大路・天神川地区

三条口停留所付近

山ノ内停留所付近

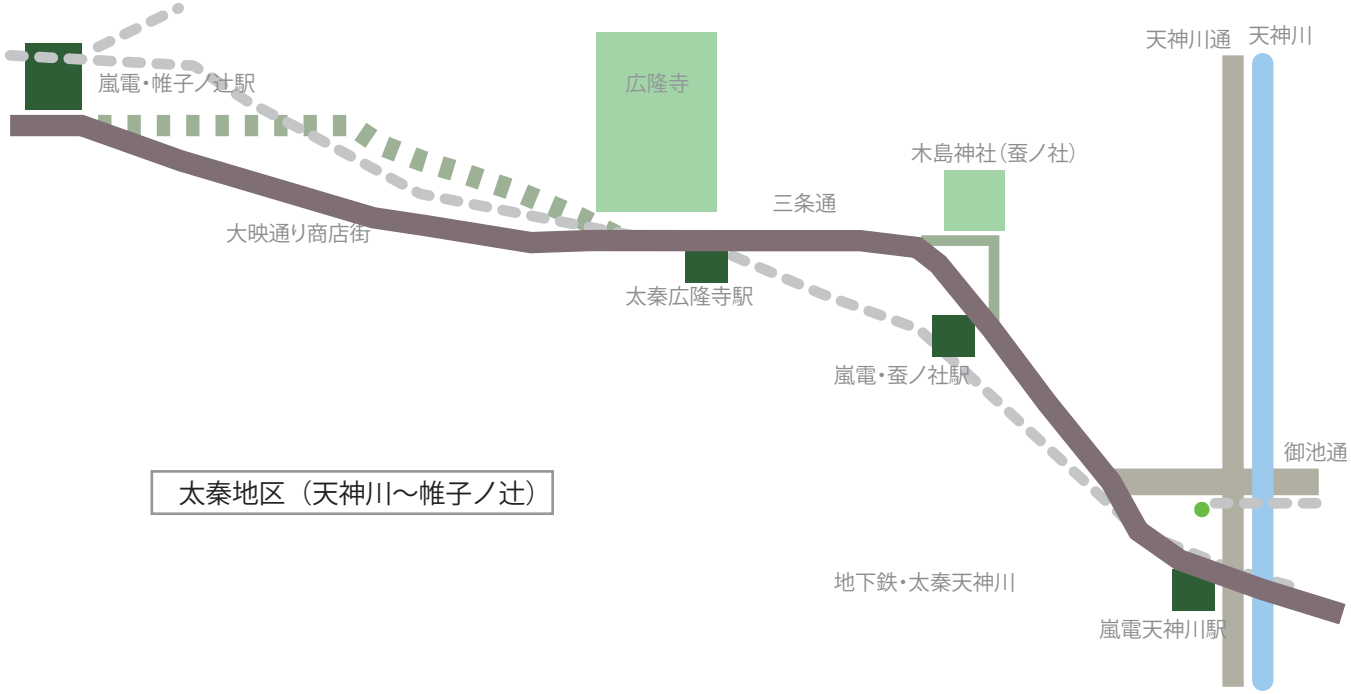
I、 太秦地区（天神川～帷子ノ辻）の特性

- この地区は天神川から嵐電帷子ノ辻駅までの 1.8k ある。
- 東映映画村で代表される日本の映画界のメッカとして有名なところであると同時に、秦氏の氏寺である広隆寺で代表される太秦の地である。
- 地下鉄天神川駅は東西線の終着駅である。
  ここから以西は嵐電が三条通のお供をするかたちになる。
- 蚕ノ社から広隆寺までは三条太秦繁栄会となっている。
- ちなみに蚕ノ社とは近くの木島神社内に養蚕を伝えた秦氏ゆかりの養蚕神社があり、地元の人たちが「蚕ノ社（かいこのやしろ）」と呼び、通称名となった。
- 広隆寺の門前からは以西は三条通、と映画文化と連携した大映通り商店街の通りと二手に分かれ、帷子ノ辻で合流する。

嵐電蚕ノ社駅

三条太秦繁栄会と広隆寺

大映商店街
（映画のフィルムを模した舗装デザイン



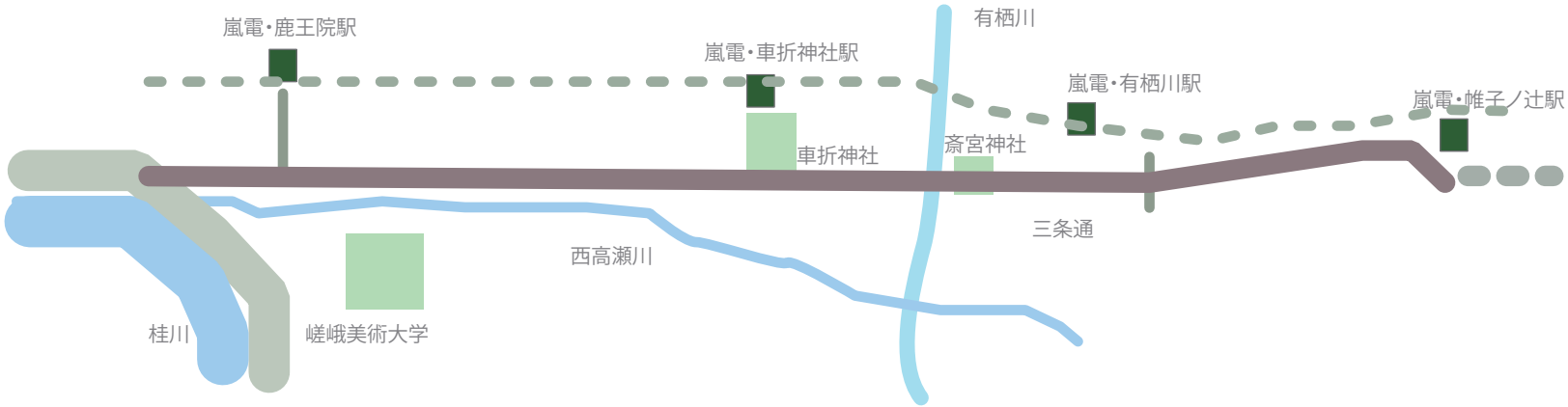
太秦地区（天神川～帷子ノ辻）

J、 嵯峨街道地区（帷子ノ辻～嵯峨伊勢ノ上町）の特性

・この地区は、帷子ノ辻から、嵐山に近い府道 112 号と府道 29 号の合流点との区間とする。
　ほぼ 1.7km の距離がある。
・この地区は三条通の北側に約 150m 前後の距離を保ちつつ、嵐電が走っている。
・ 嵐電の各駅（有栖川、車折神社、鹿王院）が地域に密着しながら、
　歴史的な神社仏閣を拠点として西に繋がっている。
・大堰川から分流された西高瀬川の流れが嵯峨中山町辺りで見られる。
・水辺のある風景は三条通に潤いを与えている。
　この地にも材木商が点在している。
・道路幅員は狭いところでは９m ほどあるが、一方通行ではない。
　歩行に危険を伴う箇所がある。
・沿道の建物のデザインに存在感の無いものが増えつつある。
・しかし、車折神社、斎宮神社、嵯峨美術大学、松竹撮影所、西高瀬川など、
　地区をイメージアップできる施設が点在している。

豊かな水流の西高瀬川

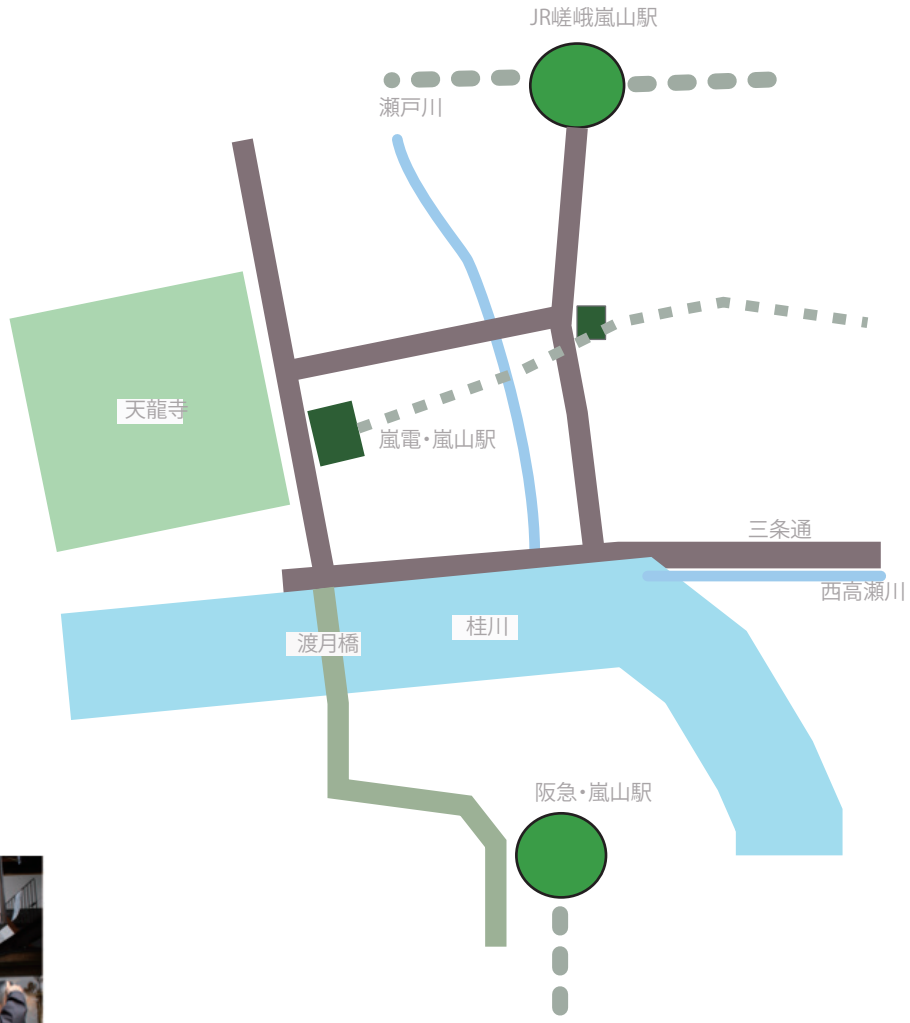
三条通に面する車折神社の鳥居



嵯峨街道地区（帷子ノ辻～嵯峨伊勢ノ上町）

K、 嵯峨・嵐山地区の特性

・この地区は府道 112 号と府道 29 号の合流地点から
　終着の渡月橋の北詰までの 500m である。
・南側は桂川に接し視界が大きく開ける。
・渡月橋の向こうに嵐山が望める。
・まさしく京都の名勝である。
・JR 嵯峨嵐山駅、嵐電嵐山駅、
　渡月橋を渡った先には阪急嵐山駅があり、
　公共交通機関が集積している。
・多くの観光客が訪れる京都有数の観光地であり、
　嵯峨嵐山地域全体を三条通りの終着の
　エリアとしてとらえている。
・平安時代を偲ぶ神社仏閣が徒歩 15 分以内に 10 数社寺あり、
　古代貴族の歴史文化が集積している名所である。



嵯峨・嵐山地区

桂川に掛かる渡月橋
（写真右下の水路は西高瀬川の分流）

観光客で賑わう嵐山商店街

II） デザイナーが発見した三条通りの見どころ

KDA 会員のデザイナーが　＜歩いて見つけた三条通りの見どころ＞　の紹介

A　山科四宮地区の見どころ
B　御陵地区の見どころ
C　九条山地区の見どころ
D　東山地区の見どころ
E　鴨川・堀川地区の見どころ
F　堀川・千本地区の見どころ
G　千本・西大路地区の見どころ
H　西大路・天神川地区の見どころ
I　太秦地区の見どころ
J　嵯峨街道地区の見どころ
K　嵯峨・嵐山地区の見どころ

A 山科四宮地区（旧東海道） 見どころマップ

A 山科四宮エリア

❶旧三条四ノ宮交差点
きゅうさんじょうしのみやこうさてん

現在の三条通りは、名神高速東インターチェンジ出入口付近から始まる、京都府道 143 号四ノ宮四ツ塚線となっている。東海道の旧道は旧三条四ノ宮交差点から始まる。この地区は両道が平行して走る地区で、日ノ岡峠の山科区側で合流する。旧三条四ノ宮交差点を西に向かって右に少し入るとローカルな良い雰囲気の京阪 京津線 四宮駅がある。この周辺は古い家とマンションやビルが混在する地区で、車の交通量の多さに少々危険性を感じるので歩行時は十分に車に注意した方が良い。

❷徳林庵
とくりんあん

旧三条四ノ宮から 20 分ほど歩くと古い六角堂の徳林庵がある。
子供を守り、大地を守るという地蔵菩薩のお顔は、優しげで温かい。裏には琵琶の祖人康親王墓があり蝉丸塔の名で親しまれている。ここは街道の出入口に六地蔵〈東海道 山科地蔵（徳林庵）／奈良街道 伏見地蔵（大善寺）／大阪街道 鳥羽地蔵（浄禅寺）／山陰街道 桂地蔵（地蔵寺）／周山街道　常盤地蔵（源光寺）／鞍馬口街道　鞍馬口地蔵（上善寺）〉が置かれた場所でもあります。

❸諸羽神社
もろはじんじゃ

徳林庵を過ぎると右手に諸羽神社の鳥居がある。ここをくぐって5分ほどで境内に着く。深閑とした境内は、朱ぬりの本堂が緑にはえて美しい。山科一八郷の中で第四番目に当たるとされ、古くは「四ノ宮」と呼ばれて、この付近の産土神(うぶすなのかみ)として人々に崇敬された。神社の背後の山は諸羽山といい、平家物語の中に、「木曽、もろは山の前、四の宮川原に打出で・・・」と記されているのは、当社周辺のことである。

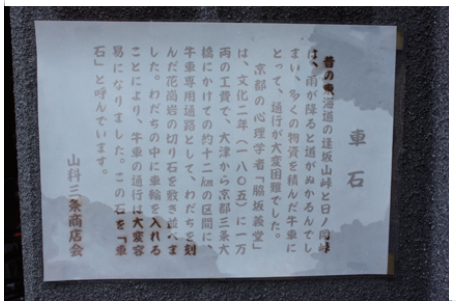
❹毘沙門堂
びしゃもんどう

三条通から毘沙門堂へは坂道徒歩7分。お寺の入り口から急な石段を昇ったところに山門があり本堂があります。春は「そうだ京都行こう」のJRポスターになった枝垂れ桜、秋は紅葉が…、四季を楽しめるお寺です。本堂裏には、山から湧き出る滝があり滝行も行われます。
たまたまかも知れませんが、上の駐車場入り口のお休み処前では「豆菓子」製造販売をやっていました。単純な手順でしたが手慣れた手つきで、豆絞りの手ぬぐいがよく似合っていたので思わず買ってしまいました。

❺竹湯温泉
たけゆおんせん

山科駅前から旧三条通りを300mほど東に行ったところにあるお風呂屋さん。暖簾は男女一枚ずつ掛かっているのですが、暖簾をぶら下げるために鉄の棒が上から延びてきているのが印象的です。暖簾の先の引き戸を開けようとしたらこれが自動ドアです。このドアを開けると、土間に番台のある古い造りの脱衣場が広がっています。と書くと、道路から脱衣場丸見えちゃうん!と思われるかも知れませんが、一応目隠しに簾で出来た衝立が置いてあります。

❻車石
くるまいし



マンション三品ビル前にある車石。
JR山科駅から南に向かう外環状線を下がり最初の信号を左折すると、本日の探索道である旧東海道筋（旧三条通）が東に伸びており、北に伸びる小道を含めて数ヶ所に車石が姿を見せている。少し歩くと、数年前まで御菓子三品本舗という伝統ある店舗のあった場所（現在マンション三品ビル）に、東海道と刻まれた石標が建っている。石標の裏面には、「昭和23年11月に往来安全のため三品英造建立」、側面には「大津札の辻まで一里半」と刻まれている。

❼山科駅と京阪山科駅近辺

やましなえきとけいはんやましなえききんべん

RACTO　ホテル、専門店などのターミナルコミュニティーゾーン、大丸やスポーツクラブなどのカジュアルショッピングゾーン、金融・医療機関などのシティーサービスゾーン、遊戯施設などのアミューズメントゾーンを有する複合商業施設。
地下1階から4階までは商業施設となっており、核店舗の大丸やましな店と40のショップが集う専門店街ラクトで構成されています。

❽旧東海道の石碑と明治天皇御遺跡の石碑

きゅうとうかいどうのせきひと
めいじてんのうごいせきのせきひ

この石碑は、明治元年九月明治天皇御東幸の際、同二年三月の御還幸及び、同11年10月の御還幸の三回に亘って、古く戦国時代より東海道の茶店、宿場又本陣として洛東山科の名刹毘沙門堂領地内にあった「奴茶屋」（現RACTO・A2階）に御駐輦されたことを記念して建立されたものである。

❾リカーコレクション龍野
りかーこれくしょんたつの

商店会の憩いの場となっている。
街づくり活動、地域コミュニティー活動をバックアップするため身近でかつ気軽に利用できる活動拠点として、山科三条商店会「リカーコレクション龍野2階」に暮らしの工房「三条街道わくわくホール」も開設し、商店会の憩いの場となっている。

❿愛宕常夜燈
あたごじょうやとう

福永日進道前に建立されている愛宕常夜灯は、一八五五年二月に建立されたものです。愛宕信仰は、右京区の愛宕山山頂にある愛宕神社から発祥した信仰で、全国にも広まっています。愛宕神社の神様は、「火伏せ」に霊験のある神として広く信仰されるようになり、古くから修験道の道場であって、愛宕山に集まった修験者によって江戸時代中頃から愛宕信仰が日本前項に広められたといいます。今なお京都市内の多くの家庭の台所には愛宕神社からもらってきた「阿多古祀符火迺要慎」と書かれた「火の用心」のおふだが貼ってある。

⓫五条別れの道標

ごじょうわかれのどうひょう

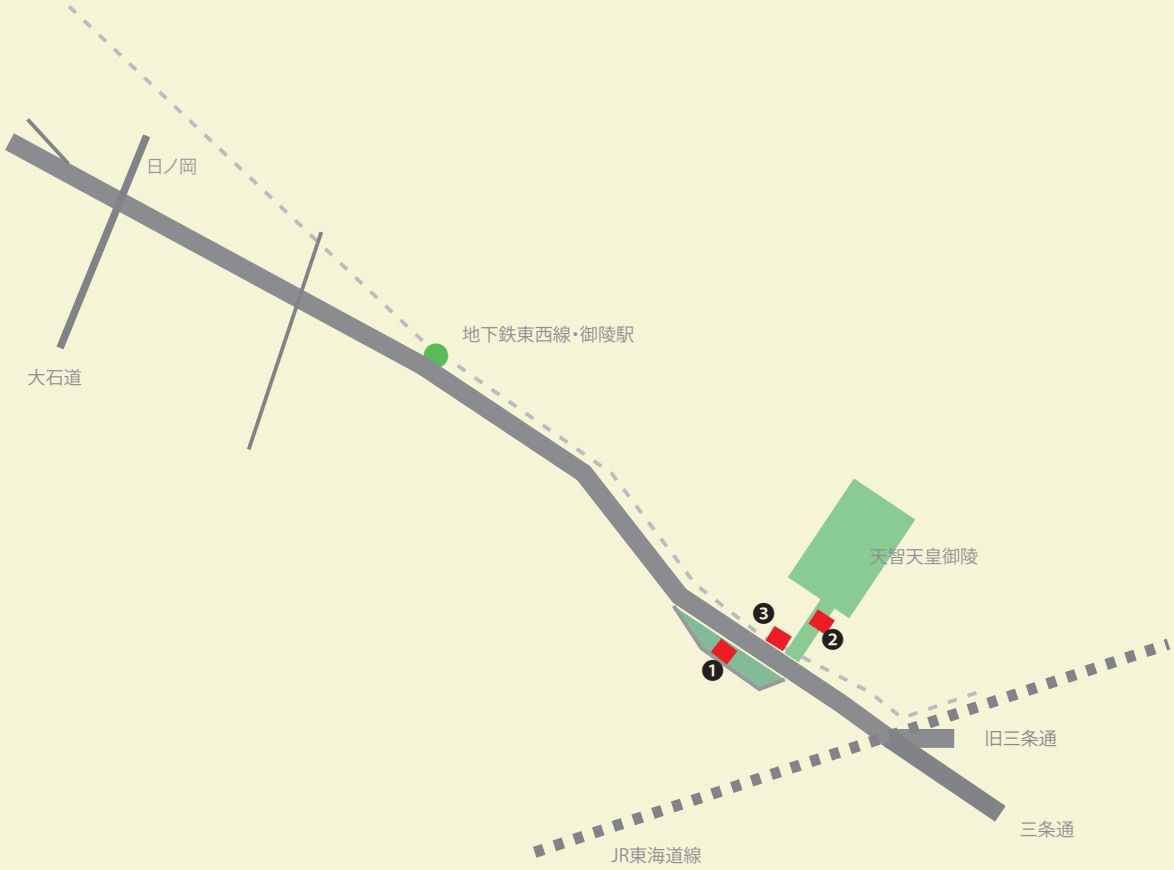
昭和62年の5月に京都市登録史跡に指定された道標。五条橋、東西本願寺、大仏方広寺、今熊野観音、清水寺方面への道を示しており、ここが東海道において要所の道一つであったと考えられます。
宝永4年（1707）11月建立。
正面には「左ハ五条橋 ひがしにし 六条大佛　今ぐまきよ水　道」、街道沿いの面には「右ハ三条通」と刻まれています。裏には、「宝永四丁亥年十一月吉日」「願主　沢村道範」と刻まれています。今からちょうど300年前に立てられ、それ以来ずっとこの地の変遷を見つめてきたわけですね。

⓬チーズケーキ ローヌ

ちーずけーき ろーぬ

ドイツ・オーストリアウィーン国家マイスター亀丸秀之氏のお店。チーズケーキのローヌとして有名で、オランダのゴーダチーズを　使って焼くスフレタイプのチーズケーキはしっとりとろけるような味わいで固定ファンも　多い。1Fは、販売店舗。2Fがヨーロピアンテイストがいっぱいのカフェ。
この道沿いで唯一ホッと出来る場所です。
ケーキセットは、自家製アイスクリームとクッキーもついて770円（ケーキの種類によって価格は前後する）は安い！四宮からローヌまで普通に歩いて約30分。途中にある史跡などに立ち寄ると＋20分。

B　御陵地区（御陵～日ノ岡）　見どころマップ



B デザイナーが発見した三条通の見所

❶京津電車御陵駅跡
けいしんでんしゃみささぎえきあと

京津線旧御陵駅と電車道はベストポケットパークに変身。御陵地域の環境改善に役立った跡地利用。京阪三条と大津をつなぐ電車が住宅の直ぐそばをすり抜けるように走っていた。
筆者の奈良が２５歳の４０年前に結婚して住んだ新居（二畳のダイニングキッチンと六畳の居間。裏の空きスペースにプレハブの風呂を設置し、人の気配がない事を確認して裸で往き来した）のアパートは、この駅を降りて南へ７分ほど歩いた所にあった。

B デザイナーが発見した三条通の見所

❷古代を匂わす天智天皇陵
こだいをにおわすてんちてんのうりょう

考古学的には「御廟野古墳」（ごびょうのこふん）と呼ばれている。「大化の改新」で有名な中大兄皇子（天智天皇）の御陵。常緑樹林の間を北に向かって緩い上り勾配の参道があたかも未知の世界に招き入れる様相を示している。向かわずにおれない絶妙のデザインである。歩くにつれて三条通の喧噪から静寂へ。騒がしい日常からタイムスリップするような感覚に酔ってしまう。

❸時の記念碑（日時計）
ときのきねんひ（ひどけい）

天智天皇陵の参道の脇に、昭和１３年、京都時計商組合が垂直の日時計を建立。天智天皇が「漏尅」（水槽が階段式に並べた水時計）を作らせ、日本で初めて時を知らせたのが 678 年６月 10 日と日本書紀に記されています。その故事に因んで、大正９年（1920）に、この６月 10 日を時の記念日としました。
「天恩無窮」（天の恩恵ある日が永遠に）という思いの篆刻文字が美しい。

C 九条山地区（日ノ岡～蹴上） 見どころマップ

❶日ノ岡から旧東海道
ひのおかからきゅうとうかいどう

京の都へ東海道を旅してきた人々が最後の山場「九条山」超える山道。現在は西行き一方通行でほとんど車も通らず寂れている。両側の民家も朽ちかけているものもあり、住民も減ってしまった。この道がかつてはメイン道路の東海道だったのか、疑問に答えるように、道半ばには「旧東海道」の石碑がライオンズクラブ寄贈で立っている。

❷日ノ岡から九条山
ひのおかからくじょうやま

琵琶湖疏水煉瓦工場跡。旧京津線日ノ岡駅。府道南側の旧道沿いの朽ちている民家。人馬による物流盛んな頃、道路舗装に石が使われた。荷馬車や大八車の交通量がいかに多かったのか、車輪跡がくっきりと残る「車石」。擁壁を兼ねてモニュメントとして残されている。小さな公園には当時の様子を知る事の出来る荷車のモニュメントも。

1997 年（平成 9 年）の京都市営地下鉄東西線開業に伴い京津線京津三条 - 御陵間が廃止されたことで、自動車にとっての道路環境は改良されたが、九条山から日ノ岡にかけての高齢者、交通弱者にとっての交通環境が悪くなり、住む人も減った。

❸九条山 - 日向大神宮

くじょうやま - ひむかいだいじんぐう

日向大神宮（ひむかいだいじんぐう）は三条通沿いにある参道入り口から階段を昇り山に入った所にある神社。「京の伊勢」と呼ばれ、内宮（上ノ本宮）ないく (かみのほんぐう) には天照大御神（アマテラスオオミカミ）が祀られています。交通祈願の神社として、また縁結びの神様、パワースポットとしても有名。内宮から左奥に入った所には開運厄除けの神のおられる「天岩戸」があり、岩戸くぐりができます。

❹蹴上インクライン発電所
けあげいんくらいんはつでんしょ

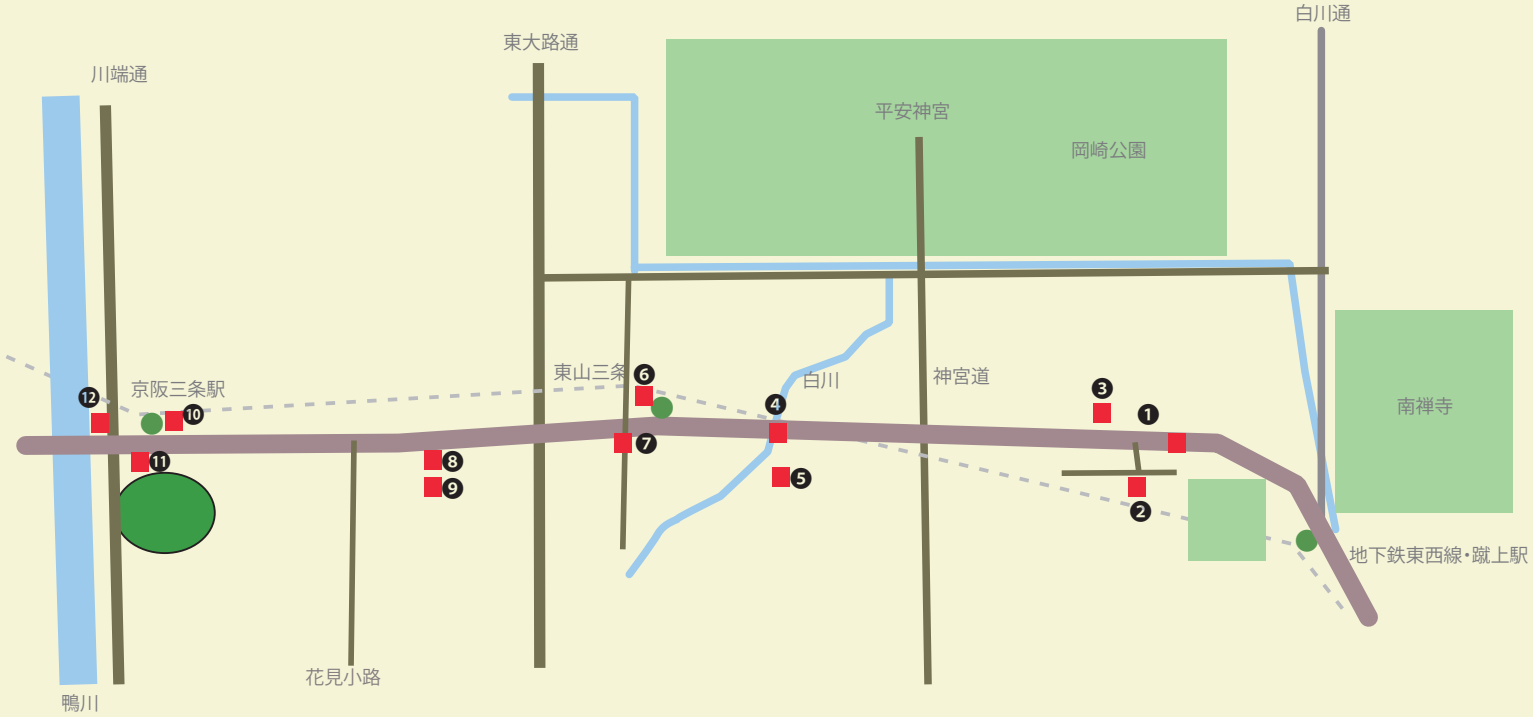
明治新政府になり、政治の中心が東京に移ったため、それまで都だった京都に元気がなくなってしまいました。活性化策の一つとして近代産業の発展に欠かせない電力を得るため、日本で初の事業用水力発電所が琵琶湖疏水終着点の蹴上げに建設され、市内への電力供給が可能になり、電灯や、電気鉄道、工場の動力源に活用されました。琵琶湖疏水は当初の目的である灌漑・防火用水、飲み水、水運に利用されました。水運のためのインクラインは低い位置から高い位置へ坂を利用して舟を引き上げる装置で、現在はその遺跡を見る事ができます。インクラインの下を横切るトンネルは、強度を保つため「ねじりまんぽ」というレンガを螺旋状に積む工法が使われています。蹴上発電所近辺に点在する疏水関連施設は平成８年（１９９６年）、国の史跡に指定され、そのいくつかは実際にそばで見ることができ、歴史ロマンを味わいながら散策が楽しめます。

❺屋上庭園を持つ蹴上駅

おくじょうていえんをもつあげえき

ツツジの花苑で有名な蹴上浄水場の三条側は石垣の上が土手になっておりその土手一杯にツツジが植わっていた。そこに地下鉄蹴上駅の出入口が建設された。
ツツジの土手は出入口建築の屋上庭園となり、ツツジは守られた。
景観を意識した美しい建築である。

D 東山地区（蹴上～鴨川） 見どころマップ



D デザイナーが発見した三条通の見所

❶三条通の道路整備の成果
さんじょうどおりのどうろせいびのせいか

1997 年、京都地下鉄東西線開通。京津線の地上線の廃止と地下鉄開通にともなって、道路整備も計画された。特に東山三条〜蹴上間は無電柱化となり、車道は往復４車線、歩道も４M 幅員のインターロッキング舗装。景観的にすっきりすると道路に面した建物がそれぞれ整備し始め、景観に清潔感が現れてくる。また、歩道の整備は歩行者に安心と安全が確保されるので、歩く楽しみが増えたようだ。

❷粟田神社
あわたじんじゃ

かって、東海道の出入口の関・粟田口に粟田神社があった。東海道の往来が増えるにしたがって、旅の安全を祈願する人々がふえ、旅立ちの神社として有名になった。写真の鳥居と参道は旧東海道に面していて、旅立つ前に祈願に立ち寄り易い立地だったことが解る。

❸路地に密着した合槌稲荷大明神の参道

ろじにみっちゃくしたあいづちいなりだいみょうじんのさんどう

蹴上から西に三条通の広い歩道を歩んで行くと、町家に挟まれた３ｍほどの幅員の路地に合槌大明神の鳥居が見える。その向こうは路地裏の民家があって、一体どこに本殿があるのかわからない。路地の突き当たりまで行って左右を見渡しても民家がしか見えない。勇気を出して左手の突き当たりまで進むと、やっと小振りの祠が現れた。民家の日常生活の路地と清められた参道とが共用されているという精神の不思議さが美しく、うれしく感じられる。

合槌稲荷大明神の由緒は刀匠三条小鍛冶宗近が信仰していた稲荷の祠堂と伝えられている。謡曲「小鍛冶」によれば、後一条天皇から守り刀の制作の勅命があり、稲荷神社に仕事の成功を祈願したところ、神狐が化けた若者が合槌を打ち、見事な刀を打ち上げ、「小狐丸」と名付けたと語られる。 宗近は天下五剣の「名物三日月宗近」（国宝） を打ち上げて有名であるばかりでなく、長刀鉾の長刀も娘の病気平癒を祈願して奉納されたものと伝わる。（立札参照）

❹白川橋
しらかわばし

三条通りの白川にかかる橋で、柱及び欄干の形状がなかなかユニークである。柱はアールデコ調で照明部分と柱のバランスが良い。欄干下の透かしは一件何の変哲もない透かしブロック積みであるが、太陽の光に当たり出来た影が三条通りの歩道の上に落ち、面白いパターンを生み出しています。何回となくこの前を通り過ぎていましたが、このことに気づいたとき、思わず設計者の思いが伝わり微笑んでしまいました。「なるほどねー」と。

D デザイナーが発見した三条通の見所

❺明智光秀の首塚
あけちみつひでのくびづか

光秀の最後の首については、諸説があり真偽は不明ですが、死後（1582 年）250 年経ってこの地に石碑が建ち、また数十年後の明治時代に戒名の石碑が建立されています。京都の庶民の新しい歴史観の積み重ねの伝統が面白く、愉しい。ついでに「光秀饅頭」をおいしくいただきました。

❽京酢を代表する千鳥酢の蔵
きょうすをだいひょうするちどりすのくら

創業 2 2 0 余年の歴史を誇る千鳥酢醸造元、村山造酢 (株) が古風な蔵を構えていましたが、平成 7 年阪神大震災で被害を受け、現在の建築に改築。ただし、旧蔵を近代建築ですっぽり囲んだ少し変わった構造。内部は鉄骨の補強を加えた以外はすべて昔のまま。長い年月の間に蔵に住み着いた無数の微生物が原料 (清酒) に作用して、旨みのもととなるアミノ酸類を生成しているからのようです。店構えはシンメトリーで、明治の頃の擬西洋建築の威厳持った様相ですが、両サイドの蔵風の表情が千鳥酢の歴史と伝統の深さ表していてなじみがよい。

❻大正時代の京津線路跡地

たいしょうじだいのけいしんせんろあとち

かっての線路敷

かっての線路敷

古川町通三条上がって一辻目を右に曲がると左の写真のような道路に斜めになった敷地に住宅が建っている。周辺の建物は全面道路に正面が向いているのに、不思議な風景である。恐らくかっての線路敷に沿って建てられたので、斜めの住居が向かい合っている。ここがかっての線路敷と推測できる。京津線の前身は京都電気軌道で、1912 年（大正元年）三条大橋から大津札の辻まで開通している。
当初の京都市内の起点駅は古川町（東山三条）で、古川町と蹴上間は現在の三条通の北側を走っていたことになる。
上の写真の黄色点線が路線敷であった。

❼老舗の古川商店街

しにせのふるかわしょうてんがい

東山三条東入ル南側にある古川商店街。道幅も狭く、かなり古いアーケードの商店街だが、入ってみると親しみやすい店が並んでいて、地域の客が店の人と声を掛け合いながら買い物をしている。親しみとぬくもりのある風景で懐かしい。残念ながら、現在はシャッターで閉ざされた店も増えてきたが、再生の動きもあるようだ。

商店街北入口と交差する三条通はかつての東海道であり、京都の表玄関として交通の要点で、知恩院、八坂神社、清水寺への参道として人の往来が盛んでした。知恩院門前町として東は大津、山科、北は北白川、八瀬、鞍馬方面よりの来客があり、繁盛を極めました。⊠主に食料品、日用必需品をあきない、明治以降も同様に繁盛を来しましたが、周辺居住地域の開発と共に次第に商圏は狭まれました。戦後、昭和 25 年早々に古川町朝日会として発足し、昭和 47 年には本格アーケードを建設、南北約 300m の通りの中に約 50 軒もの店舗が立ち並ぶ商店街となり、店舗数は減少しましたが現在に至っております（古川商店街 HP より抜粋）

❾大将軍神社と東三條社

だいしょうぐんとひがしさんじょうしゃ

千鳥酢店の裏手に銀杏の大樹のある大将軍神社がある。名前からして強い意志と力を持った神様が祭られている気配がする。

由緒：「桓武天皇が平安京を造営した際に、大内裏鎮護のため四方四隅に祀られた大将軍神社のうちの東南隅の一つである。特に平安京東のこの地は、三条口（粟田口）の要地にあたり邪霊の侵入を防ぐ意を以て重要視されてきた。」
（鳥居前にある京都市の立札より）

大将軍神社の境内に石柱で囲われた東三條社が祀られている。境内の中に小さな別の境内が設置されたようで、大将軍神社とは別の意志を持った神社のようである。

由緒：平安時代の公卿・藤原兼家の東三條殿がこの辺にあった。屋敷は応仁の乱で焼失した。三條殿の鎮守として鎮座している。

D デザイナーが発見した三条通の見所

⑩黒招き猫のだんのうさん（檀王法林寺）
くろまねきねこのだんのうさん　だんのうほうりんじ

門前の石柱の「だん王」というロゴが親しみ深い仮名文字で、庶民から親しまれていた法林寺の面影が現代にも通じるようです。境内には幼稚園、児童館が併設されていて、明るくて、にぎやかな空気が漂います。

檀王法林寺には、主夜神尊という神様が祀られている。主夜は守夜と転じて、夜を守る神として崇められ、盗難や火災などを防いでくれる神様です。夜を守る神と、闇夜に眼を光らせ黒猫が結びついたのでしょう。1600 年代の團王上人は人徳も厚く町衆信者との交流を深められましたので、「だんのうさん」と呼ばれるようになった。（檀王法林寺 HP より抜粋）

⑫駅伝の碑
えきでんのひ

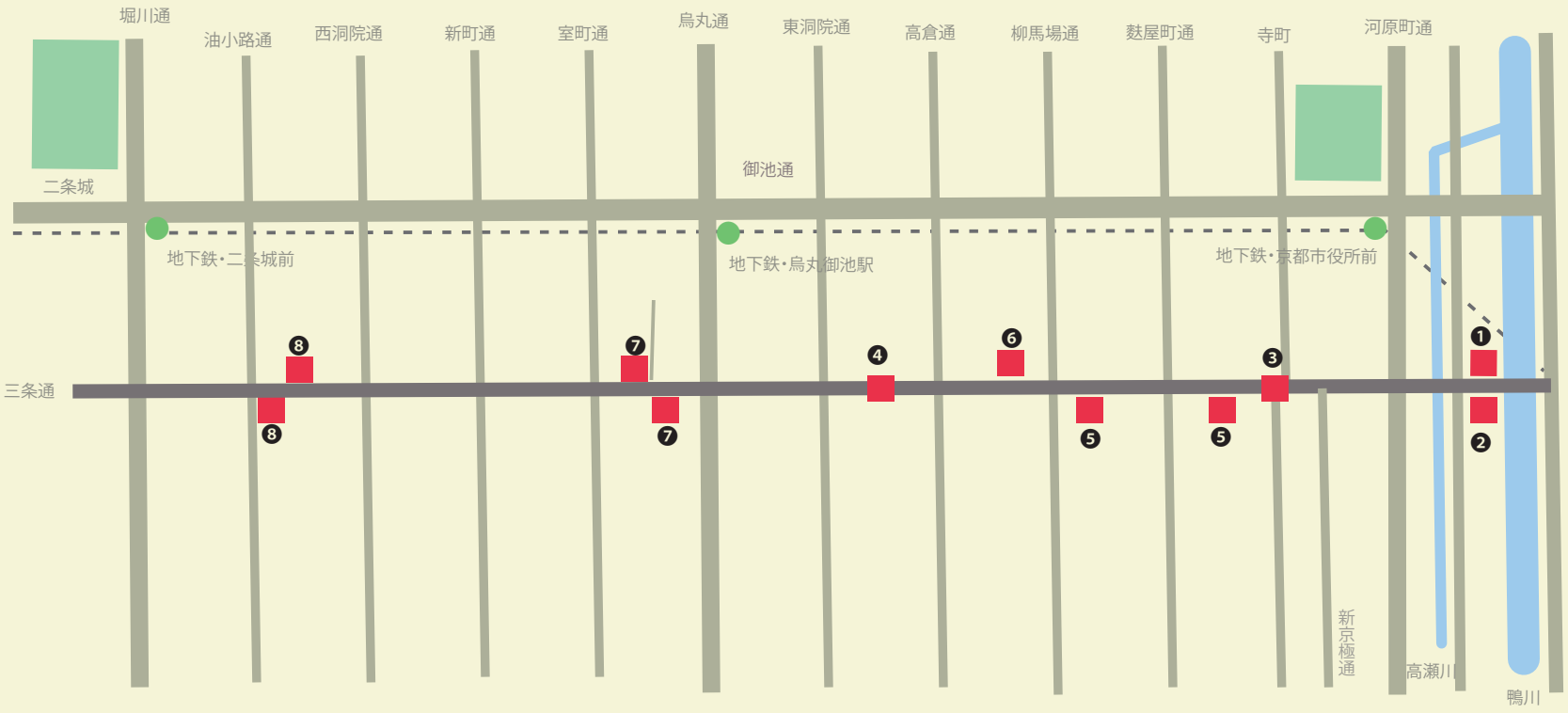
三条大橋東詰め北側に設置された石碑。大正６年に、３日間かけて京都から東京間で駅伝が行われた。これが駅伝のはじめとされる。これを契機に３年後の大正９年に箱根駅伝が誕生した。
このスタート地点の碑と同じものがゴール地点である東京・上野不忍池の博覧会正面玄関に建立されている。
「駅伝」は日本発祥であることから、まさしく記念すべきものである。
しかし、石碑の台座や周りの整備に重厚さが欠けている。

⓫ 皇居望拝の高山彦九郎像
こうきょぼうはいのたかやまひこくろうぞう

三条川端東南角、高山彦九郎の皇居望拝之趾が目に留まります。江戸後期、諸国を行脚して尊王論を説いた「寛政の三奇人」の一人。「尊王運動の先駆者」として幕末の志士たちに強い影響を与えた。最近は待ち合わせ場所として「ドゲザ前で6時に!!」とか。これでは彦九郎先生も堪ったものではありません。しかし、具象的なこの像は高山氏の功績を知らずとも、市民は親しみ深い人間味を感じているようです。

高山彦九郎は江戸後期の尊王の思想家。上野国（現在の群馬県太田市）の郷士 18 歳に各地を遊歴して勤王論を説く。京では岩倉具選宅に寄留し、知遇を得て、光格天皇に拝謁。その感激を詠った歌は愛国百人一首にもとられており、名高い。また、吉田松陰をはじめ、幕末の志士と呼ばれる人々に影響を与えた人物である。
銅像は皇居に向かって座して望拝している姿で、初代は東郷平八郎が台座の揮毫をし、1928 年に作られた。しかし、第 2 次世界大戦中に金属類回収令で供出され、 現在の銅像は 1961 年に彫刻家伊藤五百亀によって再建されたものである。 2 台目は若干西に移動し、初代の台座跡には「高山彦九郎正之先生銅像趾跡記念碑」と歌碑が建てられている。
＜ウィキペディアより抜粋＞

E 堀川・鴨川地区　見どころマップ



E デザイナーが発見した三条通の見所

❶三条小橋西詰め北側
さんじょうこばしにしづめきたがわ

幕末動乱の時代、三条小橋西入の旅館池田屋は、新選組が京都守護職の元で治安を守る最大の仕事をした大舞台であることは良く知られています。現在は飲食店「池田屋」とその前の「池田屋騒動之址」の石碑が残るのみで寂しい限りです。池田屋事変のあった 150 年経った現在も、新選組の存在と活躍ぶりが知られている。そのメイン舞台の池田屋を、伏見の寺田屋のように当時の建物の形に復原し、幕末資料館として公開すれば、必ずや多くの人が訪ねる「古くて新しい名所」の一つになるでしょう。

❷三条小橋西詰め南側
さんじょうこばしにしづめみなみがわ

東海道五十三次の終着点、三条大橋を渡ると、そこはあこがれの「京の都」の繁華街。旅館や土産物屋、料理屋が軒を連ね、旅人や町衆で賑わっていた。当時を感じさせる店が今なお商売を続けている三条小橋商店街。

❸三条寺町
さんじょうてらまち

三条寺町の交差点は楽しげなポイントです。三条河原町から始まる三条名店街商店街のアーケードが寺町通で終わり、四条寺町から北上してきた寺町商店街のアーケードも三条通で一旦、青空になる。再び寺町商店街のアーケードが三条通の北詰から北上する。つまり、それぞれ趣の違った商店街の３つのアーケードの入口がこの交差点に顔を向けている。従って空気感やファッションの異なる老若男女の買い物客や観光客がこの交差点で混在する。夏場では日陰となったアーケードから、炎天下の交差点となる。夕立の時は、アーケード内に多くの雨宿りの人でいっぱいになる。歩行者が季節を感じられるポイントである。

❹三条通の舗装のデザイン

さんじょうどおりのほそうのでざいん

寺町から新町の間の三条通の道路の舗装が数年前、新しいデザインに施された。道路幅員が約 7m のうち約 1.5m の歩道が両サイドに２本。西行一方通行の車道がセンターに走る。この構成は他の同じような幅員の道路と変わらないが、歩道部分の舗装がグレーと白色の煉瓦サイズのタイルが貼られている。歩道と車道間には高低差は無い。無理の無いデザインである。このデザインによって、しだいに自然と車両の走行や店先の駐車を遠慮したりして、歩行者が道路全体をゆっくり歩けるようになった。軒並み店舗が活気を取り戻し新しい京都観光のストリートになり、終日歩行者で賑わっている。

❺近代建築のイノベーション

きんだいけんちくのいのべーしょん

１９２８ビル

旧家邊徳時計店ビル

三条通はかってメインストリートであった頃、明治、大正時代に官民の業務地区として多くの近代建築が建てられた。現在も数件が現存し、この地区の景観イメージをりーどしている。そのほとんどは文化財としての保存指定を受けている。と同時に新たな機能を備えた建築として再利用されている。

旧毎日新聞京都支社ビルは１９２８ビルとして建築された年度を記念した名前が付けられ、ギャラリー、ショップなどがテナントとして入り若者たちの人気を博している。

旧家邊徳時計店ビルは賃貸ビルとして現存している。ファッション店や物販店などが入居していたが、2013 年 8 月現在は空家になっている。中を覗いて見ると木造の回り階段や土蔵の金庫らしきものがあり、明治時代の宝飾店らしい豪華なインテリアである。今後どのような用途で再生するのか愉しみである。

❻継承される町家
けいしょうされるまちや

三条堺町北東角に三間半の間口のしっかりした造りの町家、分銅屋足袋店がある。近代色の強い三条通に平入の屋根のしっかりした木造の 2 階屋。塗り込めの防火壁を施した 2 階部の突き出し看板は力強い。1 階の店構えは恐らく現代風に改装されたのか京格子は見られないが、ショーウインドーのディスプレイの淡白さが老舗の自信を伺わせるもののような気がする。

❼室町界隈の新たな展開

むろまちかいわいのあらたなてんかい

IYEMON SALON KYOTO

素夢子古茶家（そむし　こちゃや）

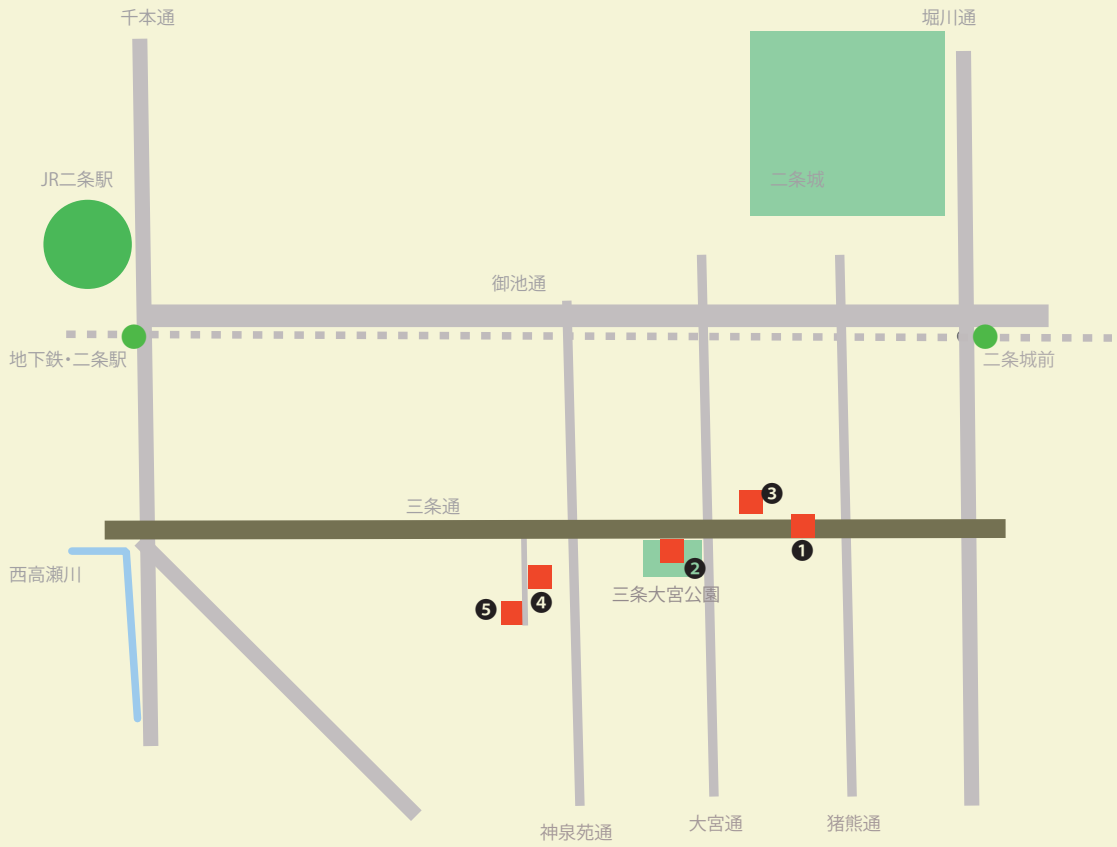
三条室町界隈も新しい展開が見られる。バブル崩壊以降、呉服業界が苦戦しているがどっこい新しい展開が進んでいます。近年、IYEMON SALON KYOTO が京友禅の老舗千聰ビルの一階に出店。日本のお茶を本格的にたのしむ空間を展開。
数年前からは両替町の北西角の老舗帯問屋誉田屋ビルの 1 階に韓国式茶店素夢子古茶家（そむし　こちゃや）がある。韓国の伝統漢方茶を提供してくれる。
両店とも、現代と伝統のコラボの重要性に取組んだ新たな展開である。烏丸以西に観光客を誘導する力があり、同時に着物産業の老舗が凛として通りの格調を支えている。

❽新町以西の活力

しんまちいせいのかつりょく

三条西洞院以西も町家を改造。イノベーション事業としてカフェなどの出店が目立ち始めている。
その趣向もオープンテラスを三条通に面したカフェや一階を駐車場にしたまま2階をカフェにした店舗など個性的な店がちらほら。今のところは穴場的なポジションのようだが、通りとしての潜在的な活気が感じられる。新町堀川間のこの地区では「三条通りを考えよう会」が住民主体で組織され、地区の活性化に取り組んでいる。三条通に面した玄関横の犬走りのスペースに床几を置き通行人の休憩場を提供している。三条通を愛している心意気が伝わってくる。

F 堀川・千本地区　見どころマップ



❶アーケードと自転車

あーけーどとじてんしゃ

京都三条会商店街は全国的に元気のある商店街として有名です。しかも、アーケードが８００ｍもある長い商店街です。なので、お客さんは気に入ったお店を巡るのに随分の距離を移動します。そこで自転車の登場です。自転車で買い物をする姿をよく見かけます。

さすがにこの商店街内には３店の自転車屋さんが共存しています。ママチャリや子供用の自転車がメインのお店、少しおしゃれな自転車を量販するお店、自転車ライフを楽しめ、カスタマイズされた自転車なども提供するする店など。多種多様で、且つ、多彩である。このように同業種でもそれぞれの特徴を持って展開している様は、この商店街の他業種にもみられる。それが活気になっていて、買い物するのが楽しい。

❷アーケードと公園

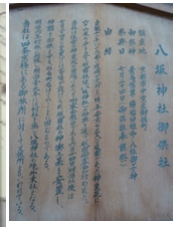
あーけーどと公園

三条大宮通の西南角に三条大宮公園がある。近隣のこどもたちのための児童公園である。親子ずれの幼児たちが遊具で遊んでいるのを良く見かける。また、買い物疲れで一休みの客たちがベンチでおしゃべりしているのも良く見かける。京都三条会商店街の中間辺りにあるこの公園は閉ざされたアーケードに光と風を供給する換気口の役目を持っている。買い物客たちは休憩がてら木陰に座ってテイクアウトしたおやつを食べながら、商店街の買い物情報を交換し合っているように見える。公園は長大なアーケードにとって重要なオープンスペースとして、地域に親しまれている。

F デザイナーが発見した三条通の見所

❸八坂神社御供社

やさかじんじゃごくうしゃ



三条黒門通の北西角に八坂神社御供社が建っている。京都三条商店会のアーケードの下に鳥居がある状態ですが、その分親しみ易い環境といえます。普段は商店街の喧噪とは違った静かな一角である。とはいえ祇園祭の還幸祭の折には三基の神輿がこの御供社に集まり、それぞれのルートを経て八坂神社にいたる儀式の重要な拠点でもある。

❹三条台若中会所

さんじょうだいわかじゅうかいしょ

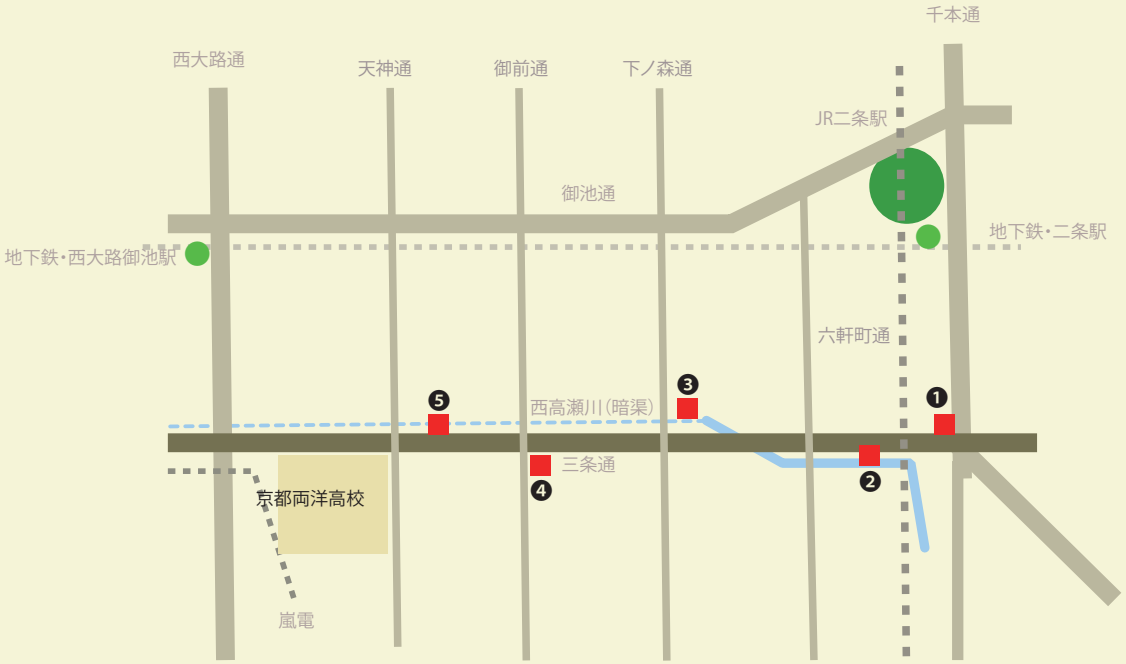
祇園祭の還幸祭神輿渡御に奉仕する三条若台中という地元有志の組織の会所である。現在では地元の京都三条会商店街の皆さんも積極的に奉仕活動に参加しておられる。

❺武信稲荷神社と龍馬

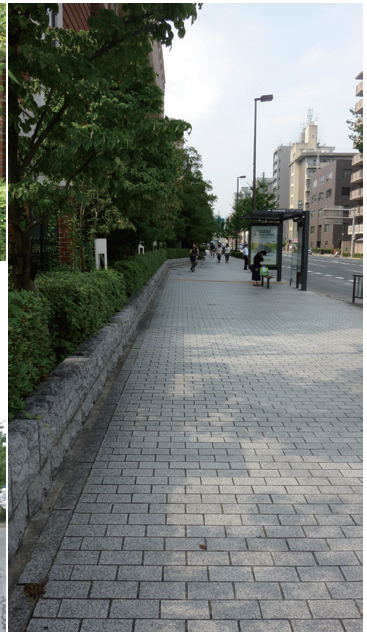
たけのぶいなりじんじゃとりょうま

三条大宮西二筋目下ルにある当神社は名付けの神様として有名である。また、境内には樹齢約８５０年の榎の神木がある。この榎は平重盛が安芸の宮島厳島神社か苗木を移したと伝えられる。
御社の南には江戸時代に六角獄舎があり、勤王の志士が多く収容されていた。坂本龍馬の恋人のおりょうの父も勤王家の医師であったため捕えられていた。龍馬自身も追われる身で面会がかなわない。そこでこの榎からこっそり様子を伺ったと云われている。

G 千本・西大路地区　見どころマップ



❶大学とバス停
だいがくとばすてい



千本三条は JR 二条駅周辺の再開発の影響を受けて整備されて美しくなった。 北西の角には立命館大学の新校舎が建てられ、大学を囲う生け垣が街に潤いを与えている。また、二条から三条間の歩道も幅広く整備されて歩き易い。
建築、植栽と共に、街灯やバス停のデザインもトータルに計画されたようで、すっきりしている。

❷みじめな西高瀬川

みじめなにしたかせがわ

西大路三条から東に向かって西高瀬川は暗渠となって、地下を流れ、千本通りの手前で再び姿を表し、流れを見せる。しかし、暗渠から出てきたときは既に水面は深く、覗き込まないと見えない。故に親水性も乏しく、管理もしにくくゴミが放置された状態が続く。さらに架かる橋も趣が無く、車道の延長でしかない。
せめて、隣接する集合住宅の公園と連携したデザインに再生してほしいものである。
でないと、かってこの街の材木商を繁栄させた歴史ある西高瀬川があまりにも惨めである。

❸自転車道と暗渠
じてんしゃどうとあんきょ

西高瀬川の暗渠化によって、道路幅員が広がり、自転車専用道が追加設置。京都には珍しい道路断面の形状である。買い物客や通学の学生の利用が多く観られる。歩道と自転車専用道と車道が区分されているのは交通安全のためでしょうが、白いポールや一時停止の柵などのデザインはハードル競技のようでぎこちない。もっと愉しい通りにできそうだ。この下には西高瀬川が流れているのだから。

G デザイナーが発見した三条通の見所

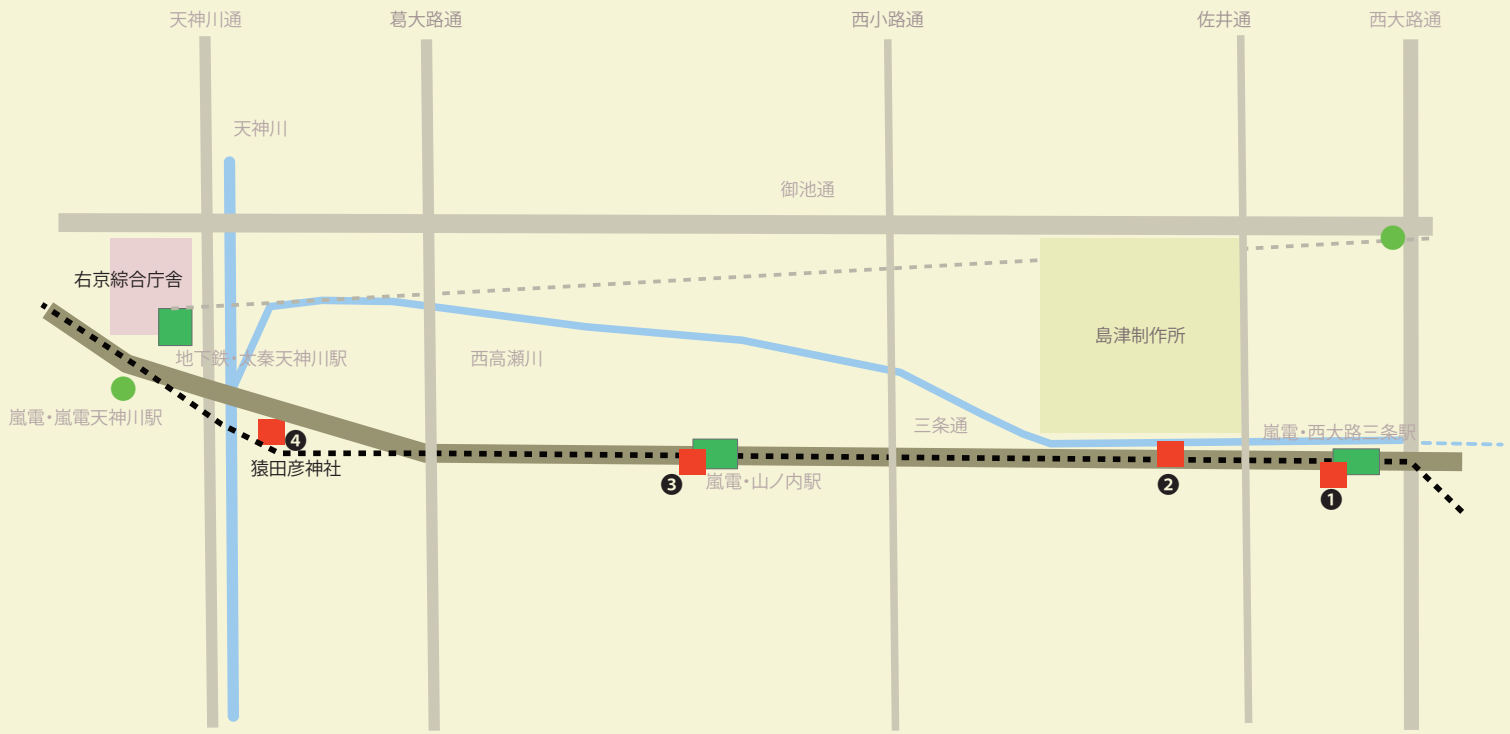
❹材木商と西高瀬川
ざいもくしょうとにしたかせがわ

西高瀬川の運河が全盛の頃、千本三条以西は京都北部の材木の集散地であった。多くの材木商が軒を連ねていましたが、材木の流通システムも変容し、現在は数軒に減少。そんな中、辻井木材センターはかっての西高瀬川（暗渠になっているが）と材木商の関係を繋いでくれている。

❺天狗堂のあんぱん

天狗堂のあんぱんは有名である。近隣の住人や高校生が良く買いにくるらしい。西小路三条角に、周辺の商店が少なくなってしまった中で頑張っている。おいしいパンを提供できることがなによりの強味です。ホントに、おいしいですよ。
2 階のショウウインドウには屋号に因んで天狗の面が 3 点飾ってある。

H 西大路・天神川地区 見どころマップ



❶路面電車嵐電
ろめんでんしゃらんでん

四条大宮駅から嵐山駅に向かう嵐電は西大路三条から路面電車となる。この間の三条通は不思議なくらい道幅が広く、嵐電が颯爽と走る様は京都ではあまり見かけない。空の広さがすがすがしです。停留所は道路の中央部に幅 60cm で作られていて昭和の匂いが感じられる。こんな風景を愉しみながら、散歩するのも一興である。

❷水流のない西高瀬川
すいりゅうのないにしたかせがわ

西高瀬川は桂川の渡月橋の上流から取水して三条通と平行したり交差したりしながら千本通迄西行し、その後、南下します。三条通に材木商が多いのはこの運河のお蔭でした。現在も取水した水は適量の水量が滔々と流れていますが、天神川で放流され、以西は雨水のみがたより。天神川などの河川改修事業によるものですが、折角、往時の河川敷を残しているなら、なんとか水流を取り戻したいものです。このままではあまりにも無粋ですね。

下の写真のように、植栽帯が整備されていて、四季の葉の様子を楽しめます。もう少し積極的に植栽帯を増やし水流の復活を期待しましょう。

H デザイナーが発見した三条通の見所

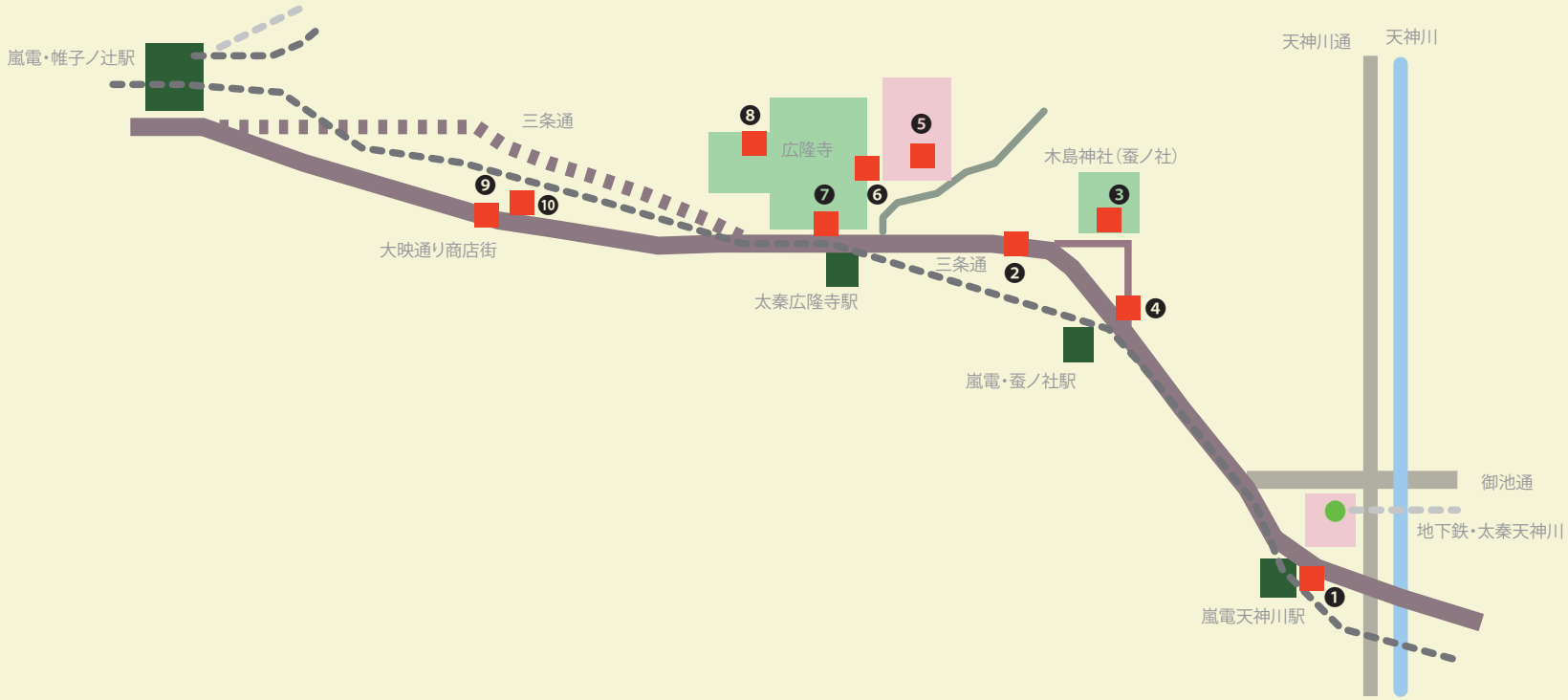
❸嵐電／山ノ内停留所
らんでん／やまのうちていりゅうしょ

嵐電は所々路面電車状態になるのだが、その中で上下線共、停留所が路面上に設置されているのは山ノ内駅のみ。西大路三条駅近辺と違って、このあたりは道路幅も狭くなり、電車と車と自転車と歩行者がひしめき合う危険な場所。ところがそれぞれの立場で細心の注意を払って譲り合っている。人間力が信じられる風景である。

❹一息つける猿田彦神社
ひといきつけるさるたひこじんじゃ

天神川の東詰めに三条通に沿って、小さな森を持った猿田彦神社がある。この近辺の三条通の道路は狭く、車の交通量が多い。歩行者や自転車は常に危険を感じている。この神社は休息の場所となる。境内にある数本の大木は夏の日陰になり、排気ガスや車の騒音を遮断してくれる。できれば、ベンチなどの一休みスペースがあるとありがたい。

I 太秦地区 見どころマップ



I デザイナーが発見した三条通の見所

❶嵐電と地下鉄の乗換駅

らんでんとちかてつのりかええき

地下鉄東西線の西の終点は太秦天神川駅。ここから嵐山までは嵐電に乗換える。この地区は右京区の再開発計画地区の拠点となり右京区役所も移転してきている。不思議な事にこの地点から少し西の交差点名が三条御池となっている。三条通と御池通が決して交わる事の無い洛中の都市構造からは、外れていて妙である。

❷三条太秦商店街

さんじょううずまさしょうてんがい

路面を走っていた嵐電が蚕ノ社で三条通と分かれ、再び広隆寺前で合流するまでの三条通は太秦商店街となる。ただし、幅員の狭い道路に往復２車線の車両の交通量で歩行が危険で、買い物が困難な状態である。商店街が危機に瀕している。せめて、一方通行にしたいものである。

❸蚕ノ社
かいこのやしろ

木島神社、通称蚕ノ社と呼ばれるのは本殿東側にある蚕養神社をいう。約 1300 年以上前に製陶、養蚕、機織などを京に伝えた渡来人秦氏が建立した神社とせれている。
本殿の西側に、四季を通じて湧水する神池がある。（近年は水が涸れている）この池の中心に「三柱鳥居」が建つ。三つの石製鳥居を三角形に組み合わせ、中心に石積みの神座に御幣が立ち三方から拝む事が出来る。

❹鳥居とバス停
とりいとばすてい

三条通に面した木島神社の鳥居とその足許には石灯籠が建つ三角形の敷地の休憩スペースがある。松が植わっていて、ベンチがあり、バス停までもがある。木島神社の玄関先に、ちょっとしたもてなしのしつらえは三条通に潤いを与えてくれて、気持ちがいい。

❺東映映画村
とうえいえいがむら

１９２６年から８０年以上　京都一の歴史をもつ撮影所です。　最盛期の東映では　年間１００本以上の映画を製作し、年間製作本数世界一となったこともありました。１９６０年頃になると、時代は映画からテレビへと移行します。水戸黄門や銭形平次、遠山の金さんなど多くの人気シリーズが生まれました。
現在は車用ゲート横に映画村の入り口ができていて、こちらからも入場できます。

❾大映通り
だいえいとおり

太秦は日本映画全盛期、まさに「日本のハリウッド」でした。大映通りは大勢の映画関係者でにぎわい、多くの映画にも登場したのでした。今もキネマストリートとして、イベントが開催されています。春には、あの大魔神が復活し、また、映画にふれて楽しめるコミュニティースペース「キネマキッチン」もオープンするなど、今も映画のまちであることにかわりはありません。

❻大酒神社
おおさけじんじゃ

広隆寺の東側に小さいけれど、よく整備された神社です。
鳥居横の由緒書きによれば、本社の祭神は秦始皇帝（しんのしこうてい）、弓月王（ゆずきのきみ）、秦酒公（はたのさけきみ）だそうです。
お酒には特に関係なさそうですが、いつもお酒の瓶が供えてあります。
お酒好きが　もっと飲めますようにと供えていったのでしょうか？

❼広隆寺
こうりゅうじ

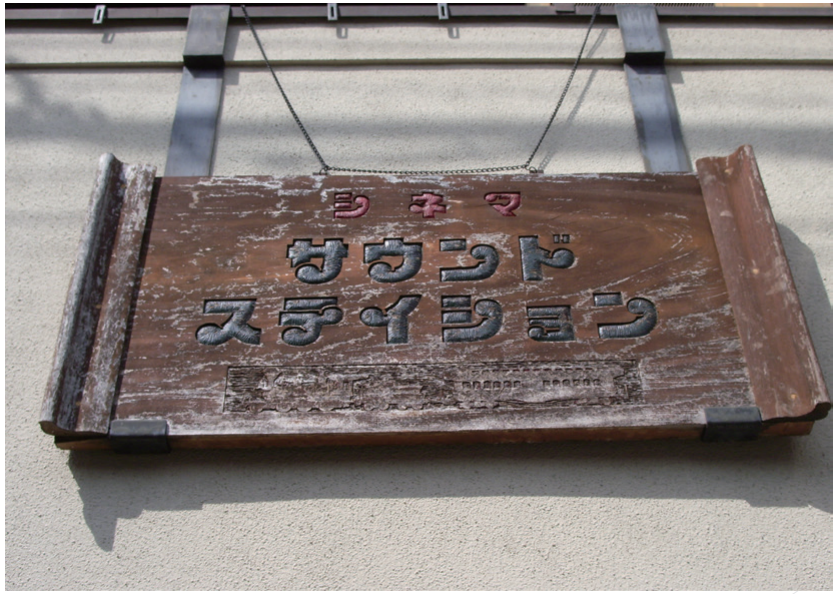
太秦といえば広隆寺、広隆寺といえば聖徳太子なのです。
狭い上に交通量の多い三条通から、一歩境内に入ると別世界が広がり、清々しくいつ来てもホッとします。
国宝第一号の弥勒菩薩（半跏思惟像）をはじめ寄木造の千手観音）、聖徳太子16歳像など、それぞれ時代を代表する仏像が安置され、一見の価値有りです。

❽広隆寺　桂宮院本堂
こうりゅうじ　けいきゅういんほんどう

広隆寺境内の上宮王院太子殿の西、境内西北角に位置し、聖徳太子が楓別宮を起こした場所と伝えられ、1251 年（建長 3 年）中観上人によって再建された。別名八角堂という。単層檜皮葺八柱造りの鎌倉建築で、屋根に八角形の＜露盤・宝珠＞を載せている。屋根勾配は非常に緩くて、軒の反りは強く、廻縁が広くて見附が薄いため、軽快で安定した印象を受ける。大改修を施されているが当初の面影を留めて、夢殿形式の典型といわれ清雅な建築美を誇っている。度々の災禍にも拘らず、多くの仏像（国宝仏像 17 躯）がよく保存されていたことからも、強い信仰の対象として大切にされていた事が分かる。

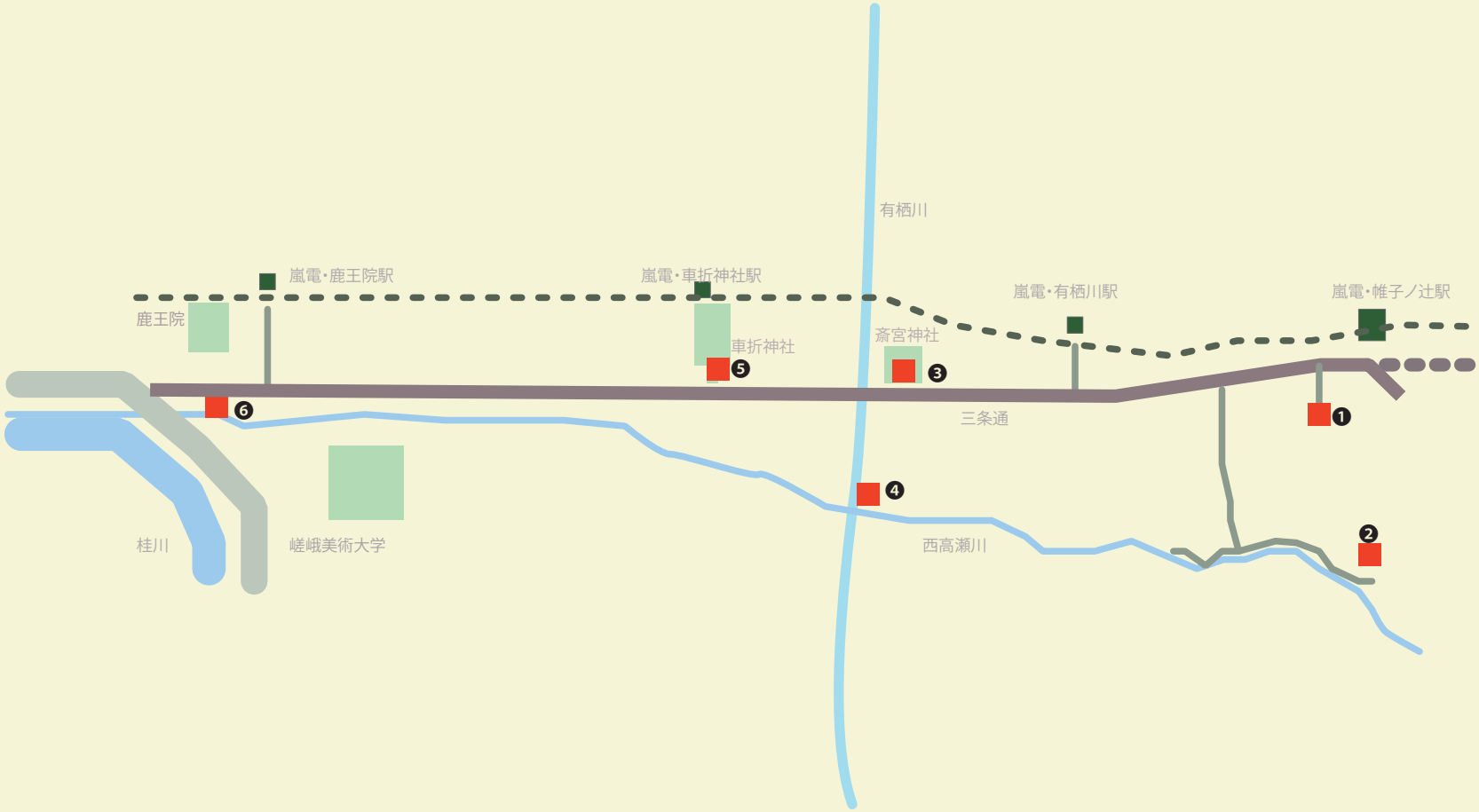
⑩サウンドステイション

さうんどすていしょん



大映商店街にあるシネマサウンドステイション。日本映画のメッカ京都の太秦にあるお店？
中を覗くと太秦キネマ塾とか、EPO 法人京都ノ文化ヲ映像デ記録スル会と書いてあったり、音の駅イノベと書いてあったりで、ここはどのような人たちが集まってくるのだろう？　次は中に入ってみよう！
音ではなく昔の匂いがするステイションである。

J 嵯峨街道地区　見どころマップ



J　デザイナーが発見した三条通の見所

❶松竹撮影所
しょうちくさつえいしょ

京都映画撮影所、松竹京都映画撮影所、松竹京都撮影所、を経て現在は松竹撮影所と呼ばれます。あの必殺シリーズはここで撮影されました。時代劇が盛んだったころ、三条通をはさんで向かい側のお食事処あいおいには、撮影途中の俳優が衣装のまま食事に来ていました。自分以外全員ちょんまげなんてこともしばしばでした。

❷蛇塚古墳
へびづかこふん

京都府下最大の横穴式石室をもつ前方後円墳で、現在は後円部の石室のみ露出しています。石室は明日香村の石舞台古墳に匹敵する大きさです。床部分の面積で比較すると日本で第４位の規模で、国の史跡にしていされています。
上空からの写真を見ると　家が元の前方後円墳とぴったりの形に並んでいるのがおもしろい。

J デザイナーが発見した三条通の見所

❸斎宮神社
さいぐうじんじゃ

天照大神を祭神とする神社です。伊勢神宮に奉仕する斎宮が有栖川の辺に野宮を建て、精進潔斎をした旧跡と伝わる、こじんまりとした神社で、厄除け開運・婦女子の血の道の守護などに御利益があるそうです。このあたりは以前材木置き場に囲まれていて、銭形平次などの撮影をよく見かけました。道幅が狭いわりに交通量が多い三条通りにあって、ほっと一息つける場所です。

❹有栖川と西高瀬川
ありすがわとにしたかせがわ

嵐山のから流れてきた西高瀬川はここで有栖川と交差しています。まだ丸太流しが行なわれていたころは、平面交差していたとききました。流されてきた丸太はこの辺りに立ち並ぶ製材所で　木材に加工され　出荷されていきました。今では製材所は少なくなってしまいましたが、京都木材のメッカだったのです。
今はサイフォンの原理で、西高瀬川が有栖川の下をくぐっているそうです。

❺車折神社
くるまざきじんじゃ

車折神社といえば　有名なのがこの芸能神社。天宇受売命（あまのうずめのみこと）という女性の神様がまつられています。天岩戸伝説では、宇受売命が岩戸の前で踊り、それに魅かれた天照大神が岩戸からでてこられて、この世に光が戻ったといわれています。そのことから、天宇受売命は芸能の祖神といわれています。境内には芸能人が奉納した玉垣がたくさんあります。最近はパワースポットとしても人気です。

❻西高瀬川
したかせがわ

江戸時代初期に角倉了以により開削された大堰川から、丹波地方の木材を市中心部に直接引き込むため運河として、文久3年に嵯峨・千本三条間が開削されました。京友禅などの染物工場からの排水を流すための水路としても利用され、日によって色が変わったといわれています。現在は天神川に注ぐように改修され、水量が有るのは太秦あたりまでとなっています。

K 嵯峨・嵐山地区 見どころマップ

K デザイナーが発見した三条通の見所

❶長慶天皇 嵯峨東陵
ちょうけいてんのうさがひがしのみささぎ

南北朝時代の第九十八代、南朝第三代の長慶天皇の御陵で、隣には皇子の承朝王の墓が並んでいます。
この陵は整備が行き届いていて、いつもたいへん美しく保たれています。周囲を民家に囲まれていますが中は全くの別世界です。人の出入りも少なく非常に静かで、メジロやキビタキといった野鳥が多数見られます。

❷安倍晴明公嵯峨墓所
あべのせいめいこうさがぼしょ

安倍晴明公嵯峨墓所は、住宅に囲まれてひっそりと佇んでいます。安倍晴明といえば有名な陰陽師ですが、没後　松原橋、三条大橋、東福寺と流転をくりかえし、嵯峨の地に落ち着いたようです。
ガイドブックや地図にはほとんど載っておらず　あまり知られていませんが、ファン？の供花は絶えず　いつも新しい花が供えられています。毎年命日の9月26日には「嵯峨墓所祭」が行われています。

❸ 大井神社

おおいじんじゃ

嵯峨嵐山 渡月橋の北詰にひっそりと佇む小さな神社。祭神は倉稲魂神(うがのみたまのかみ)。

神名帳によれば　貞観一八年 時の豪族泰氏が大堰川を修したときに治水の神として祀った神社である。現在では商売の神様として 嵐山商店街の信仰を集めている。

以前は松尾大社の摂社であつたが　現在は野宮神社の末社となっている。

❹ 櫟谷宗像神社
いちたにむながたじんじゃ

嵯峨嵐山「渡月橋」の南「渡月小橋」詰めにある神社。祭神は奥津嶋姫命(おきつしまひめのみこと)市杵嶋姫命(いちきしまひめのみこと)の二神が併祀されている。

奥津嶋姫命が海運の女神である事から水難の守護神として知られている。また貞観十二年に葛野に作られた造幣局から新銭が奉納された事から福徳財宝の神として毎年 新券が奉納されている。最近では「お金で縁結び」として若い女性の人気がある。現在は松尾大社の摂社である。

❺ 大悲閣 (千光寺)

だいひかく（せんこうじ）

渡月橋から大堰川の右岸を西に登った山の中腹にある禅宗寺院。

大堰川 富士川 天竜川 高瀬川 等の河川開発工事を行い 豊臣秀吉や徳川家康から朱印状の許可を得て 大々的に海外貿易を行った「角倉了以」の菩提寺である。了以が河川開盤工事に協力した人々の菩薩を弔うため創建した。

了以はこの大悲閣に隠遁し 晩年を過ごしたと云われている。

仏堂に安置されている 唯一 現存す了以の像は 法衣を纏つたうえに 石割斧を持つ開拓者の姿で 眼光鋭く 太網の上に座している。

また 了以の子「素庵」は儒学者 芸術家として活躍し 嵯峨本の製作者として有名である。さらに角倉一族のひとりである「吉田光良由」は算術書 塵劫記の著書を編纂し数字 理系の道を開いた功労者である。松尾芭蕉もこの地を訪れていて「花の山 二町のぼれば 大悲閣」の句を残している。

❻ 法輪寺
ほうりんじ

和銅六年(713) 元明天皇の命により真言密教の僧
「行基」が創建した寺。弘法大師空海の弟子「道昌」の「虚空蔵菩薩」を安置している。清和天皇が廃針を納めた針堂がありお裁縫の神として着物関係の参拝者も多い。また知恵を貰う「十三参り」の寺としても有名である。参道の途中には左手に 全国の鉄道・電気関係者が参拝する電気・電波の守り神である「電電宮」がある。右手にはエジソンの電球の発明を讃える「エジソンの脾もある。 編纂し数字 理系の道を開いた功労者である。

❼ たなか

七十五年の歴史を持つ川魚屋さん。代々嵐山の大井川で捕れる川魚を商いとして来ました。
現在は 鰻と鮎佃煮が店頭に並びます。
昔の味を求めて全国からお客様が訪れます。

❽ 廣瀬
ひろせ

大正ロマンを感じさせる建物とインテリアのお店です。
地元出身の白髪のオーナーが凝った珈琲を出してくれます。

❾ さがのや

駅前に七十年間
続く定食屋さん。現在の御主人は
お婆さんの代から三代目です。
元々は嵯峨嵐山へ訪れる旅人の為に「嵯峨
之家」の屋号で旅籠を営んでいました。
お薦めの品は「嵯峨野定食」です。

❾ JR 嵯峨嵐山駅

じぇいあーるさがあらしやまえき

昭和初期に建てられた木造建築の旧駅舎に変わって建てられた新駅です。
奥嵯峨への観光客の利便性を考え北側にも出入り口を増設しています。観光シーズンには１日30万人の利用者があります。

⓫ 法念院（一心寺）

ほうねんいん（いっしんじ）

平清盛と戦った源氏の熊谷実篤の出家寺。

以前は天台宗の寺であつたが 明治時代に仏教の教えを広めるために浄土宗に改宗された。

天台の名残として五味五色「五色の旗」を掲げている。

天台密教の「五正色」とは「青」(しょうしき)阿弥陀如来に降伏する色「黄」(おうしき) 胎蔵界の色「赤」(しゃくしき)金剛界の色「白」(びゃくしき)大日如来の色「黒」(こくじき) 諸仏を隠す色である。　徳川家 和子の菩提寺でもあり珍しい鳩の家紋の屋根瓦を見る事が出来る。

⓬ 野宮神社
ののみやじんじゃ

（ののみやじんじや）と発音する。伊勢の神宮に奉仕する内親王が潔斎のため居住された神社。

歴代の天皇家には未婚の皇女を三年の間身体を清めて神宮に奉仕させる「斎宮」（さいぐう）と言う皇室慣例があつた。

最初の斎宮は垂仁天皇の皇女倭姫（やまとひめ）と伝えられている。

入口の「黒木鳥居」と呼ばれる大鳥居は樹皮のついた櫟（くぬぎ）の木材で造られていて形式としては日本最古の鳥居である。

源氏物語を題材とした謡曲にも「黒木の鳥居 小柴垣 昔に変わらぬ有様なり」と謡われている。

境内には 学問の神「野宮大神」縁結びの神「野宮大黒天」子授 安産の神「白福稲荷」財運 芸能の神「白峰弁財天」が祀られている。

⓭ 御髪神宮
みかみじんじゃ

御髪神宮(みかみじんじや)野宮神社から竹林の道を経て5分

「小倉池」西湖畔に祀られている。南北朝の貴族 藤原采女亮政之公(うねめのすけまさゆき)が祭神である。

神社の駒札に記載された説明文によれば亀山天皇の御代(1259ー1374)藤原基晴が宮中に宝物係として仕えていた時代 所管の宝物を紛失する事件があつた。基晴は責任を取って探索の為 諸国行脚の旅に出るが財政は貧窮し文永五年 三男の政之公が生計を立てるため髪結の職に仕えたのが起源とされている。

髪に携わる職の人々が全国から参拝に訪れている。境内にには「戦争とハゲを無くそう!」等 切実な絵馬もある。

⓮愛宕念仏寺
おたきねんぶつじ

「おたぎ ねんぶつじ」と発音する。天台宗比叡山派の末寺である。 京都の西北 愛宕山の麓にあるこの寺は もともと称徳天皇(764ー984)の開基により山城愛宕群に建立された。一度 衰退の期を迎えるが 平安の初期に天台宗の僧「阿闍梨伝燈大法師千観内供」(918ー984)によって再興された。

「千観」は生涯念仏を唱えて暮らしたと伝えられていて別名「念仏上人」として人々から厚い信仰を集めた。以後「愛宕念仏寺」と称される事になる。その後 幾多の変遷を経て(大正11年)愛宕山との信仰的な関係から当地「愛宕山道」に移築された。

正面入口の朱と緑のコントラストが美しい「仁王門」は江戸中期の建築。左右に力強く構える「仁王象」は仏師「快慶」の作風を連想させる鎌倉時代の作品である。入母屋造りの本堂には「厄除け千手観音」や鎌倉様式の「虚空菩薩象」が安置されている。寺内の西南にある「地蔵堂」には平安初期に造られた「火除地蔵菩薩象」が祀られて居て台所を預かる主婦層に人気がある。

特にユニークなのは先台住職(彫刻家)の発案により昭和56年から10年間 一般の参拝者自身の手によって彫られた千二百羅漢の像である。五十年の歳月を経て すっかり苔むし寺内に暖かく溶け込んでいる。

⓯ 愛宕神社一之鳥居

あたごじんじゃいちのとりい

嵯峨の界隈の北端　愛宕街道の入口に有る鳥居である。街道には江戸末期から明治・大正にかけて愛宕詣出の門前町として町屋・茶店が建ち並んで居た。

「伊勢には七度 熊野に三度 愛宕さんへは月参り」と唱われたように参拝者で賑わつていた。以前は街道の横に嵐山から清瀧まで愛宕電気鉄道が走り 清瀧から愛宕山頂まではケーブルカーが運用されていた。現在でも「愛宕ケーブル会社」は存在する。

愛宕山の一の鳥居に因んで「鳥居本一華表町」と呼ばれる町名もあり8月16日の送り火「鳥居形松明」を担当している。

Ⅲ）　三条通りの中心軸に向けての提案

京都の「背骨」になる三条通り

1、三条通りが中心軸となるためのデザインの提案

2、地区別デザイン提案

A　山科四宮地区の提案
B　御陵地区の提案
C　九条山地区の提案
D　東山地区の提案
E　鴨川・堀川地区の提案
F　堀川・千本地区の提案
G　千本・西大路地区の提案
H　西大路・天神川地区の提案
I　太秦地区の提案
J　嵯峨街道地区（の提案
K　嵯峨・嵐山地区の提案

1、　三条通りが中心軸となるためのデザイン提案（三条通り全体を通して）

①環境、景観をデザインする

・三条通りが心地よく歩ける道であるために・・・・道のデザイン（歩行者と車との共存の仕方や舗装など）、道の標識、ストリートファニチュアーの整備デザインが必要。

・三条通り全体が花街道とし、四季折々に咲く花や、並木の樹木を楽しめ花街道の名所になるような全体の植樹デザイン。

・三条通りは関連する公共交通網のどの駅からでも、散策を楽しめるために、JR,地下鉄、嵐電の各駅と三条通りを結ぶスムースな連絡道のデザイン。

②地元と観光客との交流を図る

・三条通りの情報がどこにいても入手できるように、それぞれの地元地区の住民の活動や、以下の8つの商店街を繋ぐ駅伝ショッピング、イベントの同時開催など、情報が連携できるシステムデザイン。

・また、情報の収集と発信を行うサテライトが必要。

③モノづくりをプロデュースする

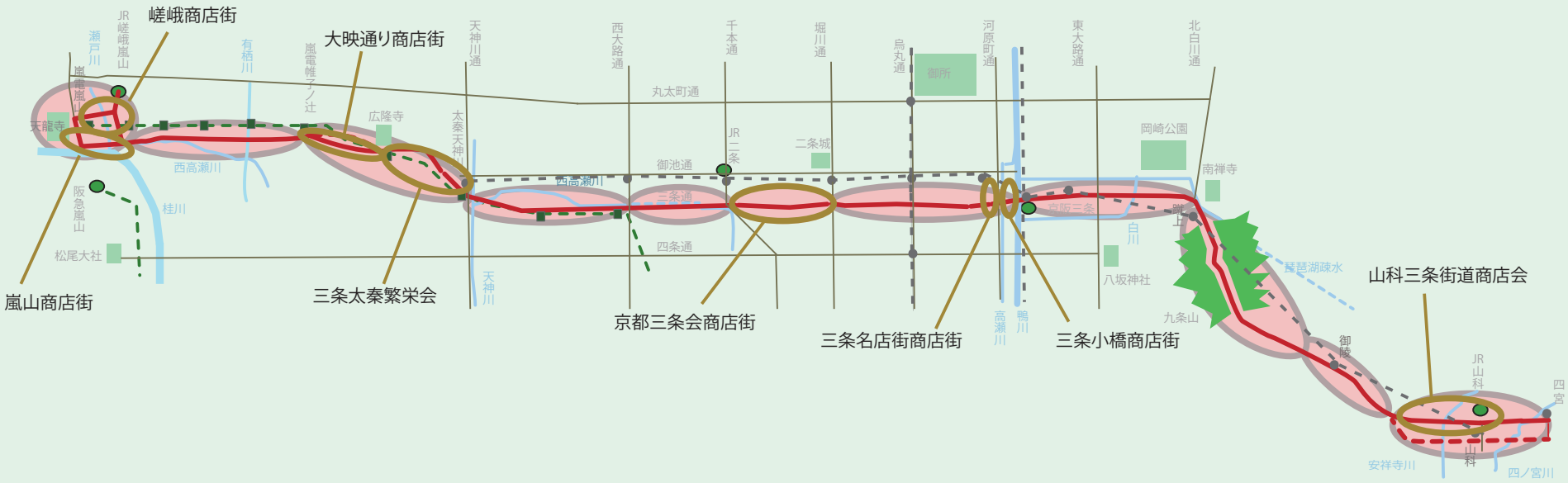
・三条通りの活性化のため８つの各商店街の特性を活かした新商品の開発を企画。　観光とショッピングの コラボ計画など。

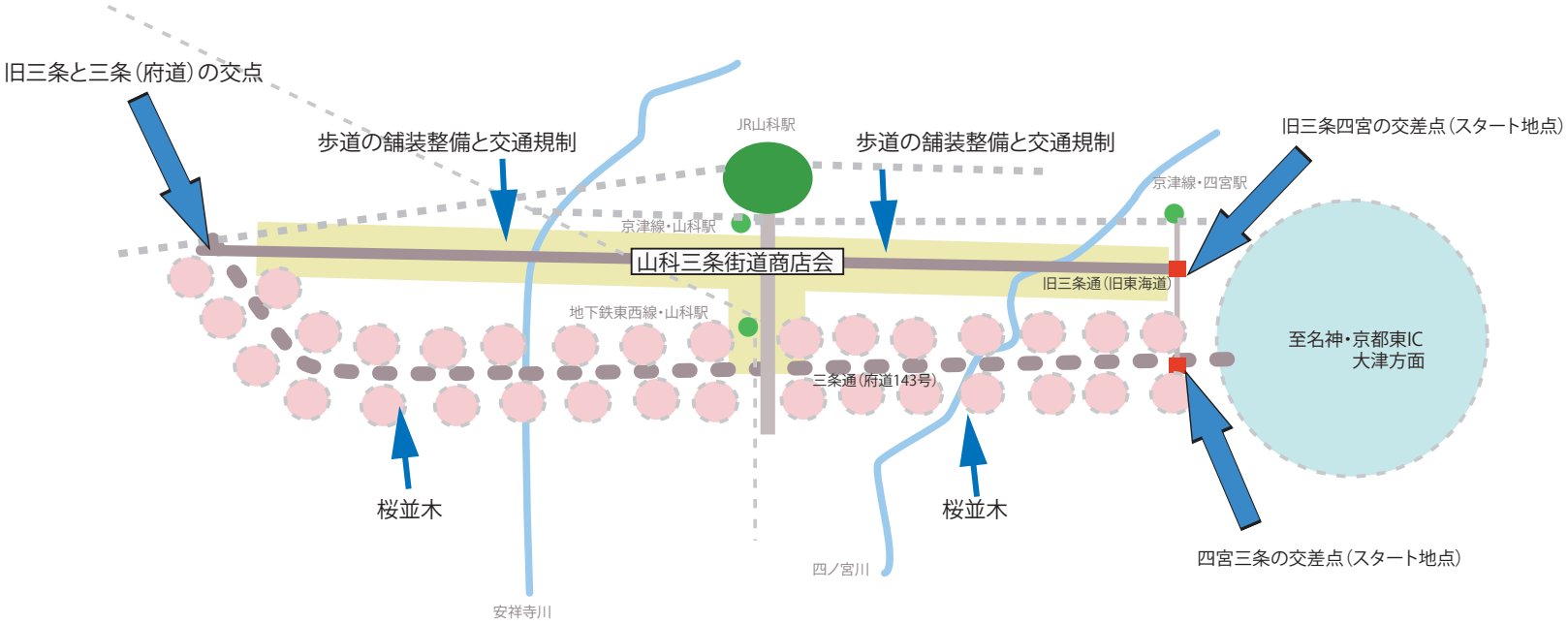
④文化からデザインする

・三条通りの歴史、文化遺産、及び伝統を継承しながらも現代的な生活文化の知恵などの発見とその表現をデザイン。

京都の中心軸としてこれらのテーマを複合的にデザインすることで、
日本全国、海外に「魅力ある三条通り」が認知される。

また、誰もが訪れたことのある有名な京都の観光地とも強い繋がりを持つことで、
京都観光の質（中味）が立体的になり、
より一層の広がりが期待できる。





■ 旧三条通（旧東海道）をゆったり、安心して歩けるように。　史蹟と商店街の複合した魅力を増幅させるために。

① 旧三条通の交通規制　・・・・・・・・　約９m幅員に車の交通が頻繁で、商店街での買い物もゆっくりできない。　朝夕のラッシュ時以外の、一方通行規制などを検討。

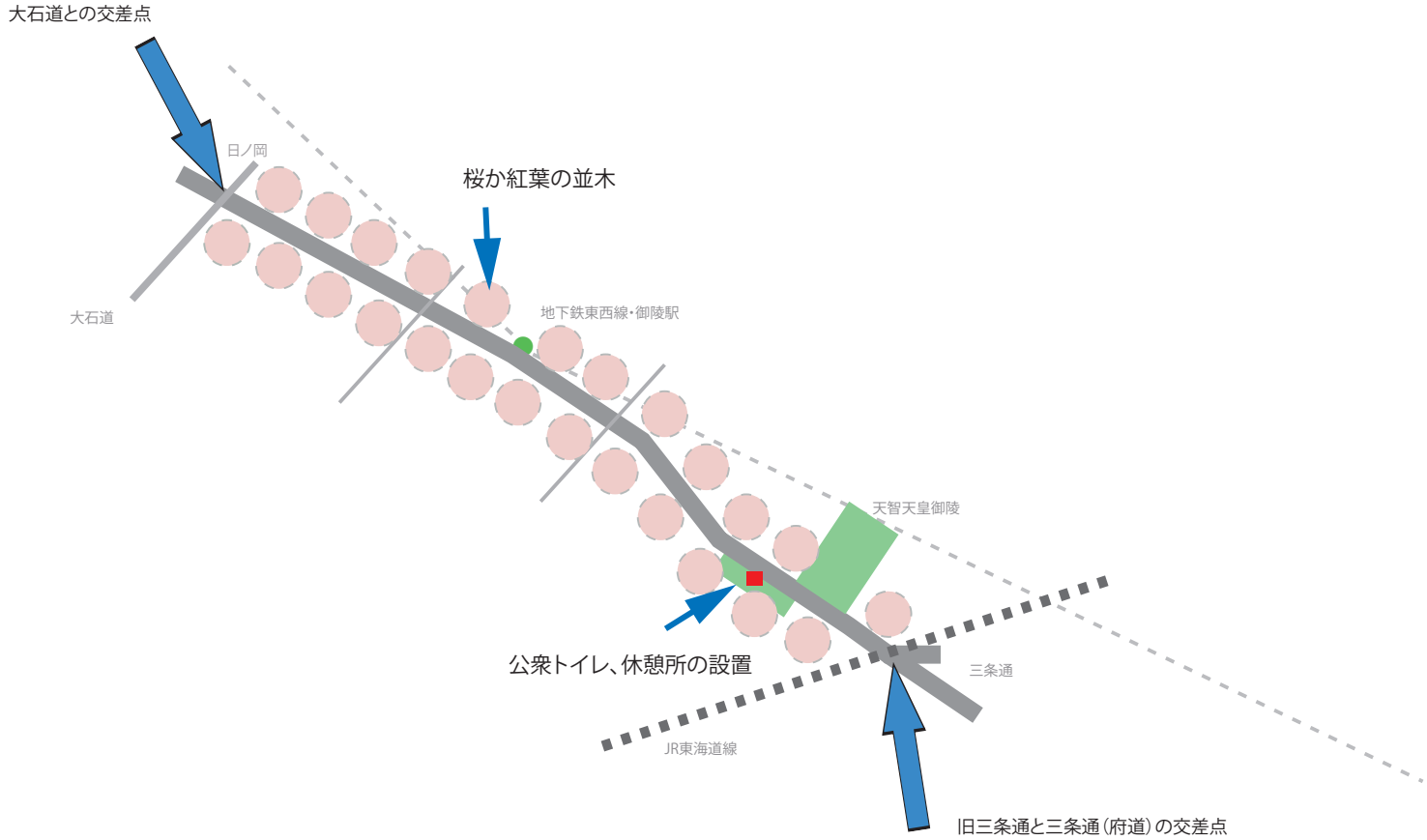
② 旧三条通の歩道の舗装整備　・・・・・・・・　三条寺町と三条新町間にみられるように、歩道部分を車道と段差なしにインターロックなどの舗装を検討。
車がゆっくり走るような仕掛けが必要。

③ 山科三条街道商店会では毎年の秋に「わくわくフェスティバル」を開催などを契機に、三条通りの他の商店街との協調のネットワークづくりを検討。

■ 三条通（府道143号）は名神高速道路・京都東ICは四宮と直結している。　滋賀、岐阜、愛知、静岡、神奈川、東京方面からの車はこの京都東ICを利用する。
京都への門をくぐった第一歩のアプローチ空間となる。　と同時に、山科区の表玄関でもある。
そのため、「もてなしの表現」が求められる。

① 三条通（府道143号）の歩道は、並木がまばらで存在感がありません。　花の咲く樹木（桜か紅葉）の並木が洛中へのアプローチとなる。　並木の名所にする。

Ⓑ 御陵地区（御陵～日ノ岡）＜1.1km＞

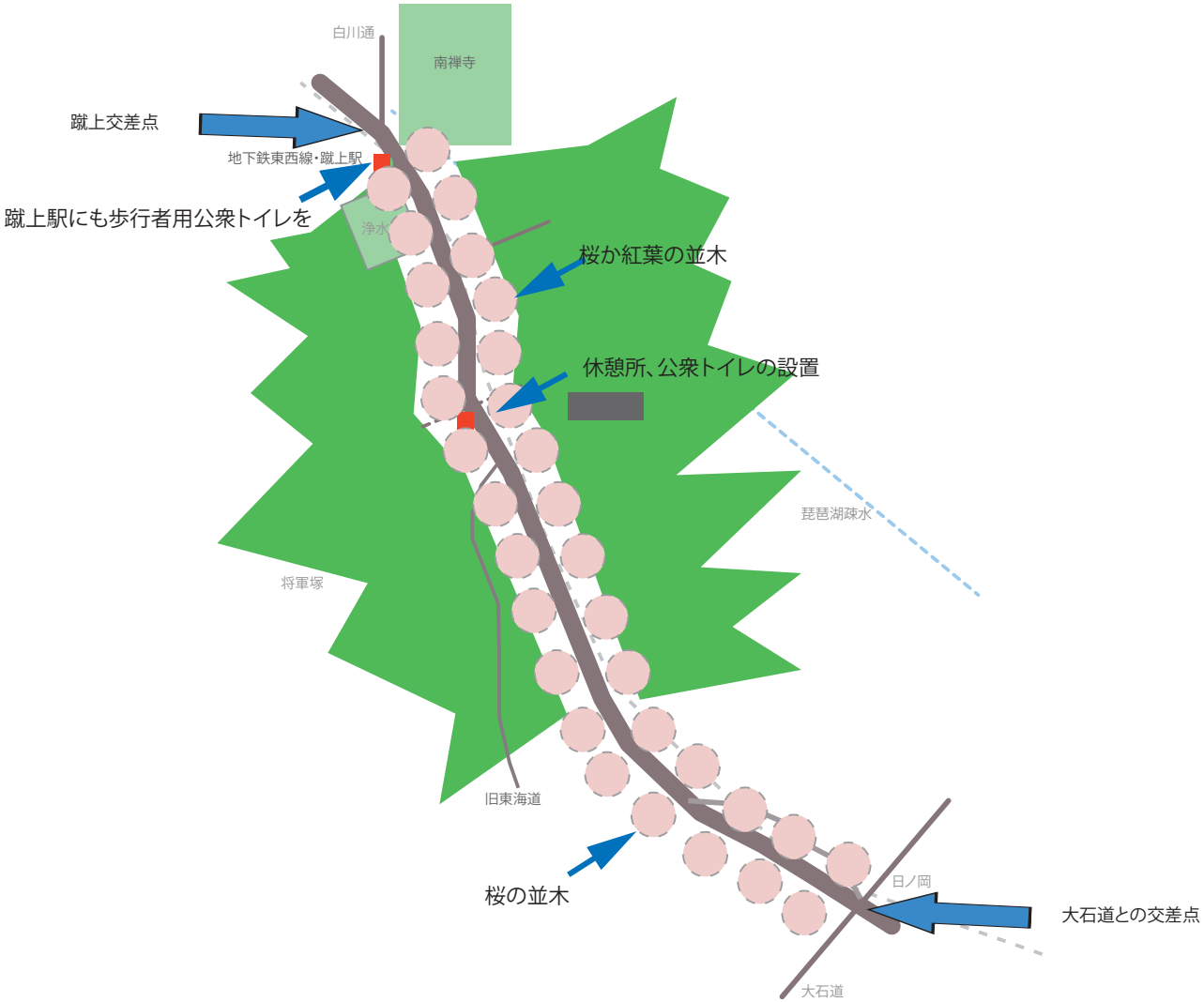


■ 山科四宮地区から引き続いて、「桜か紅葉の並木」の連続が山科の名所ともなる。

① 地元の商店主や住人が一本一本の並木を大事にすることで、まちなみは品位と格調が整い、自然ともてなす気持ちがわいてくる。

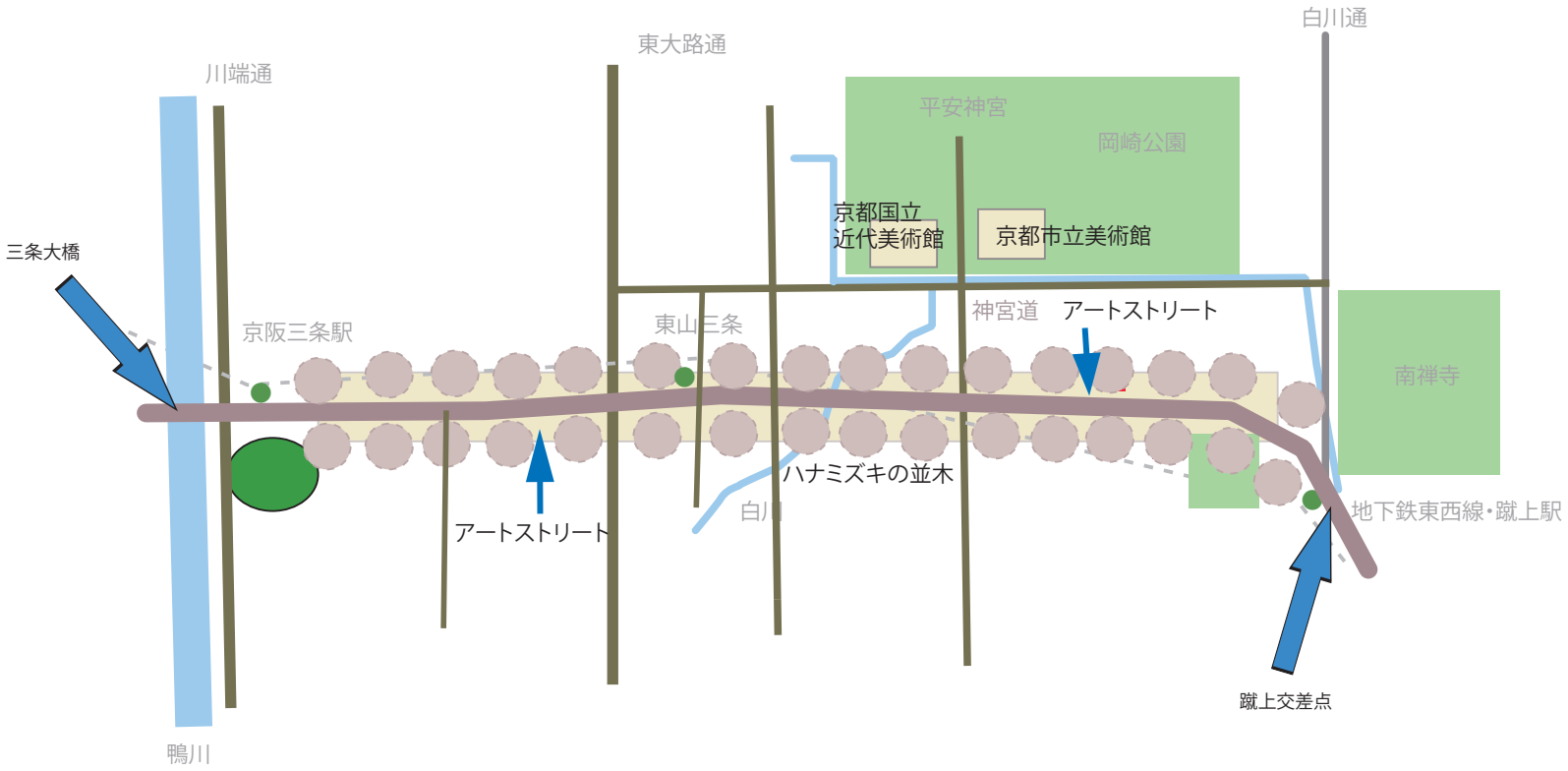
② 歩行者にとって、休憩スペースや公衆トイレは欠かせません。この地区には、公衆トイレを備えた店舗や神社仏閣がありません。
京津線地下化による線路敷が公園となっている場所などに公衆トイレや休憩施設があるのが望ましい。

ⓒ 九条山地区（日ノ岡～蹴上）＜1.6km＞



- 京都洛中に向かってのアプローチ的地区の最後のエリアとして徹底した花木の並木がふさわしい。
- 九条山の峠越えとしてのアップダウンと、心地よいなだらかなS字型のカーブはウオーキング、ジョギングに最適。
  ウオーキング大会などのイベント開催企画を考案。
  従って、峠の頂あたりに休憩所、公衆トイレの設置が望ましい
- 蹴上駅に歩行者も利用できる公衆トイレが必要。

Ⓓ 東山地区（蹴上～鴨川）<1.6km>

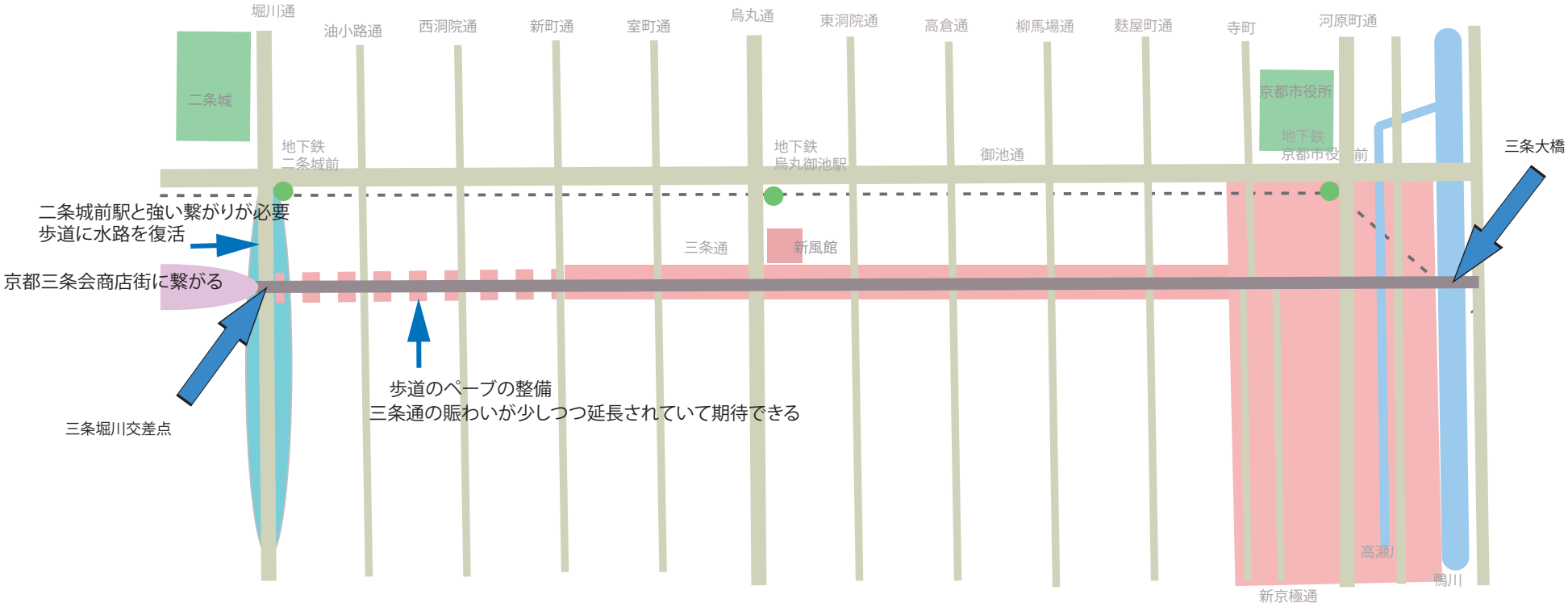


■ この地区の道路断面は歩道が広く大変美しい。電柱、架線の地下化による景観も良く。ハナミズキの並木は初夏の三条通を華やかに彩ります。
従って、道路デザインは現状のままで良い。 ただし、並木の並ぶ密度が粗なところがあるので、密度を高くできるところは集中的にでも並木を増やす。

■ 地区内には京都国立近代美術館、京都市立美術館が神宮道に沿ってあるので、その環境の影響もあって、三条通にアートギャラリーが多くある。

① 春や秋にはこの地区のギャラリーがネットワークを組んで、「アートギャラリーフェスティバル」などのイベント開催を検討。
三条のアートストリートとしての個性的な特徴付けが望ましい

Ⓔ 鴨川・堀川地区＜1.8km＞



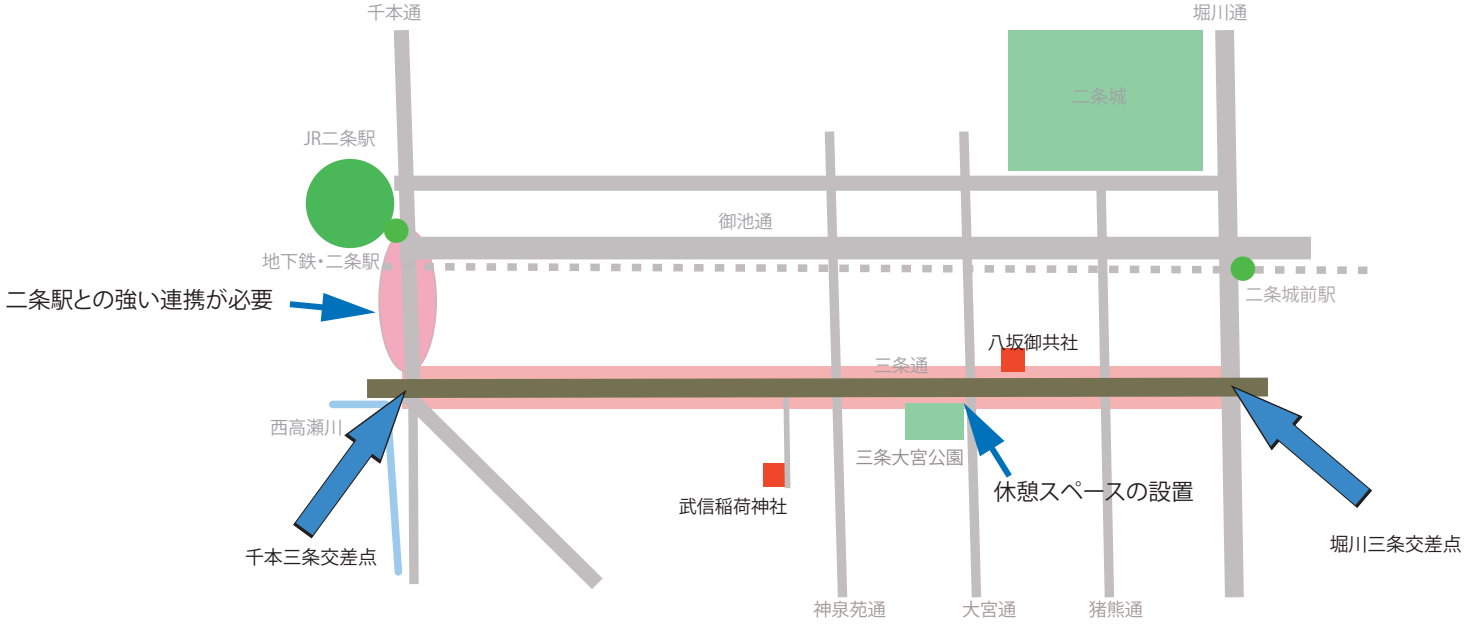
■ 本地区の三条通りから烏丸にかけての京都の中心的繁華街である。いわば全三条通りを代表する顔を持っている。
観光客や買い物客で賑わっている。烏丸から堀川にかけてもその賑わいが延長されつつある。

① 寺町から新町まで施された歩行者用のペーブメントのデザインを堀川通まで延長するように検討

■ この地区から地下鉄の駅が御池通に移る。従って御池通と三条通のあいだの道の繋がりが重要。
京都市役所前駅とは寺町通のアーケードで繋がっていてスムース。
烏丸御池駅は三条通の近くに出入口があるので問題なし。二条城前駅はやや繋がりが弱い。

① 暗渠になった堀川の小さな水路（カスケード）を歩道に設置。水の流れを取り戻すことで堀川通に潤いが出来て、
三条通りとの交点にも休憩所のようなポケットパークが生まれ易くなる。要検討。

Ⓕ 堀川・千本地区＜0.9km＞



■ 地域の庶民の台所である京都三条会商店街は京都の生活文化の一端としての大きな観光資源になる。

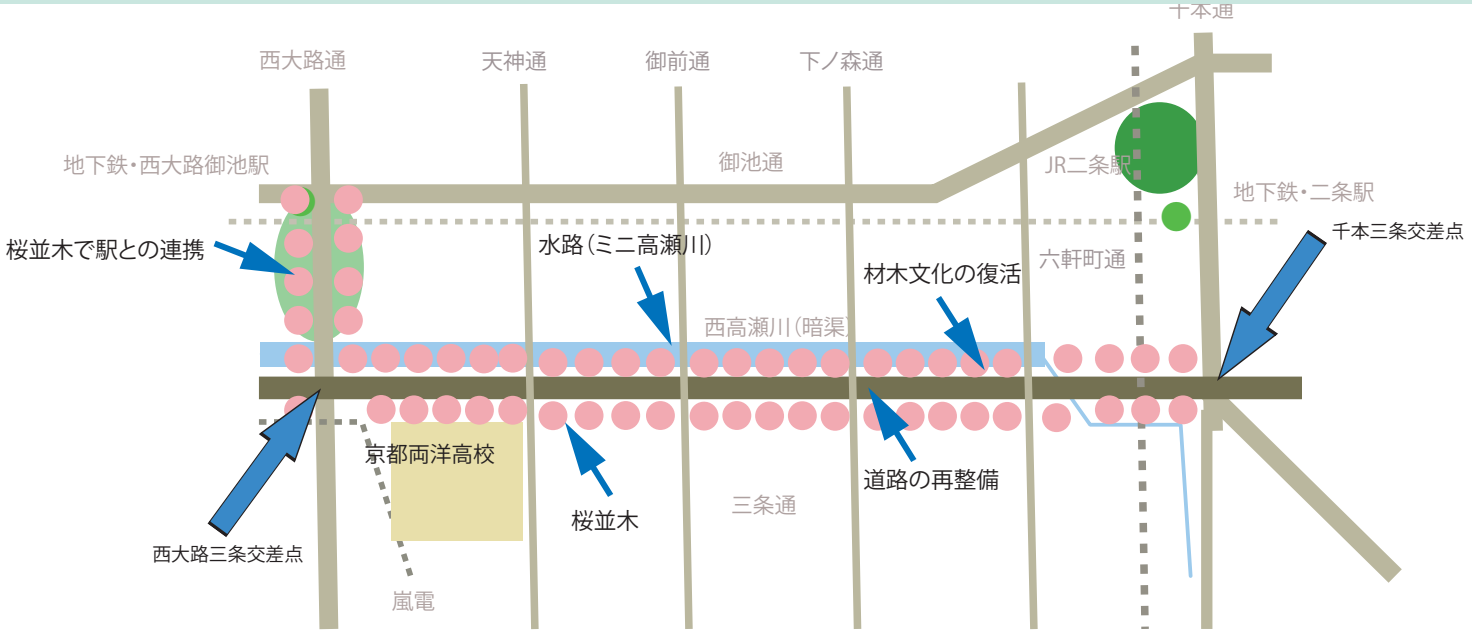
① 千本三条～三条大橋間の京都の中心的な商業地区が直接繋がることで三条通りの中心軸がしっかりする。
② 商店街のイベント情報などを地元も含めて、なお全国レベルで発信。

■ アーケード内がテーマパークの要素を盛り込んだ商業施設になるように発展。

① アーケード内にベンチなどを設置して休憩スペースの確保や商店街全体のインフォメーションコーナーなどの配置が必要。
② 新たな機能として、ものづくりの職人店やアートギャラリーを数店誘致し、地域文化の中心となるよう検討。
東山地区の「アートギャラリーフェスティバル」に連携参加。

■ 二条駅との強い連携が必要

Ⓖ 千本・西大路地区＜1.0km＞



■ 暗渠になった西高瀬川の復活。

① 暗渠の上部に水路（カスケード／ミニ高瀬川）を復活。市民に愛されるせせらぎを作る。

■ 高瀬川と桜並木の街道として整備。

① 心地よく歩ける道づくりとして、ミニ高瀬川と桜並木を検討。

■ 材木文化の大衆へのサービス機能の充実。

① 市民が集い楽しめる銘木・材木商、木工家具工作所などの復活と新しい展開。

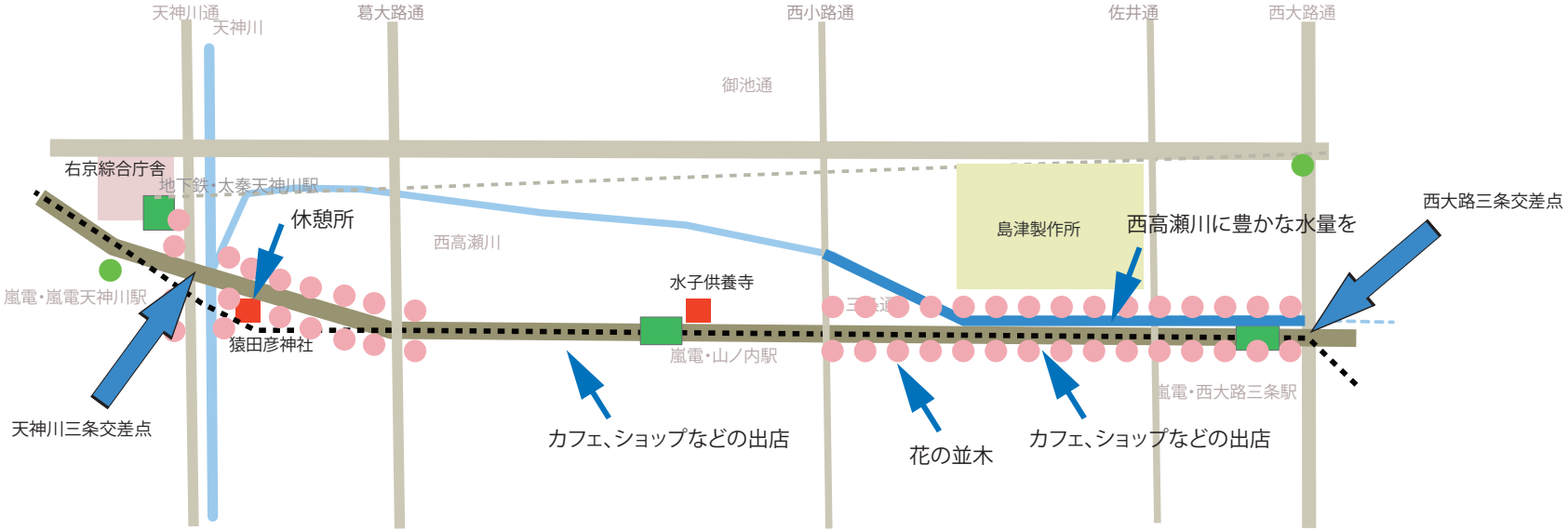
■ 自転車道,歩行者道の再整備

① 並木、水路（ミニ高瀬川）とともに自転車道と歩行者道の安全ガードや停止規制などの標識などのデザインを検討。
材料は北山の木材利用など。

■ 西大路御池駅との連携

① 桜並木で連携を計る。

Ⓗ 西大路・天神川地区＜1.4km＞



■ 西大路～西小路間は道路幅員が広く、京都で唯一の路面電車（嵐電）と車がゆったりと走る地区である。

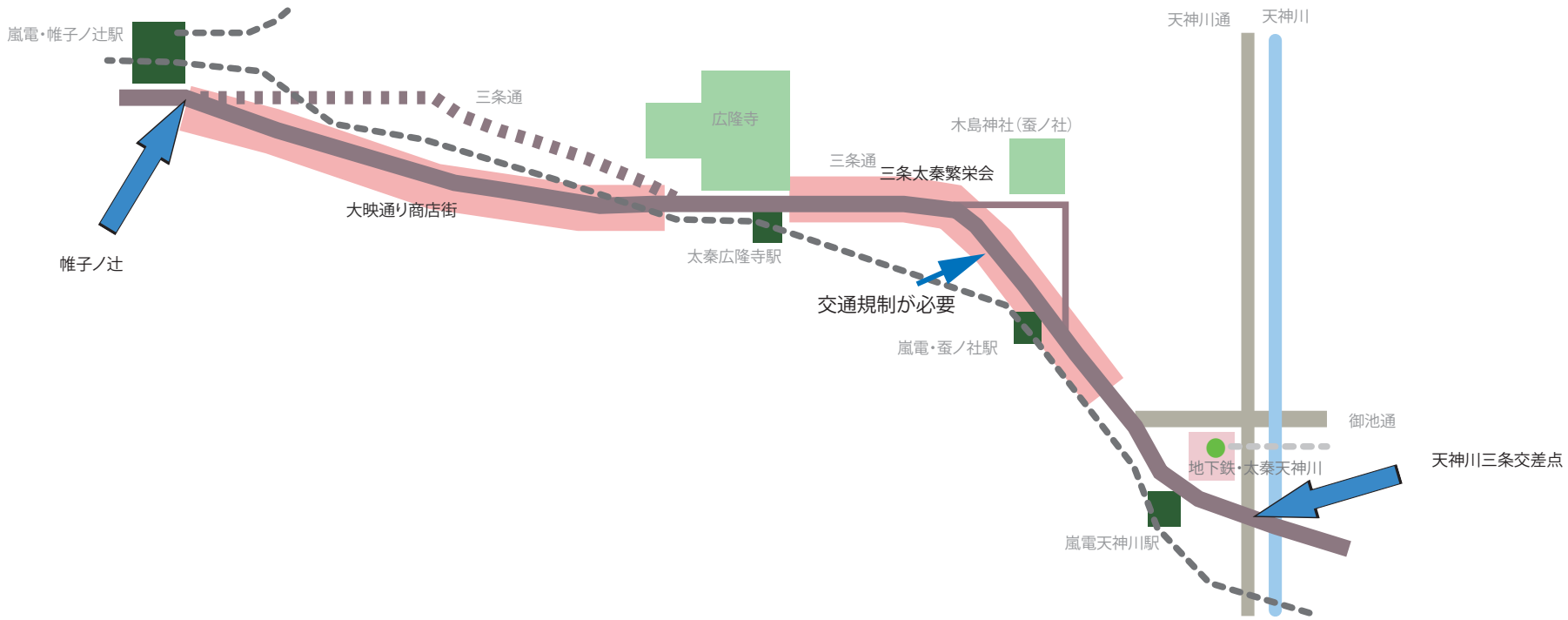
① 花の並木が名所になるくらい咲き乱れるように植樹が望ましい。
② 島津製作所前の西高瀬川には水の流れが無いので復活したい。
③ 沿道にはカフェやショップが出店し易い環境を保つことが重要。

■ 天神川通～西小路間も道路幅員は狭くなるが路面電車が走り和やかな雰囲気は続いている。

① 歩道が１m位のところもあり歩行者にはやや厳しい環境であるが、所々にポケットパークやカフェ、ショップがあれば気持ちよく歩ける環境になる。

■ 猿田彦神社には落着きのある境内がある。

① 参拝を兼ねて休憩所があれば良い。また、三条通りが狭くて歩行者には危険なので境内を通り抜けれるように検討。



■ 天神川で地下鉄は終点となり、嵐電に乗り換える。路面電車（嵐電）は蚕ノ社まで続く。

① 地下鉄太秦天神川駅周辺は右京区役所があり、新しい右京区の中心地区となりつつある。
周辺の再開発事業では気持ち良く歩ける三条通りを考慮に入れた計画を望む。

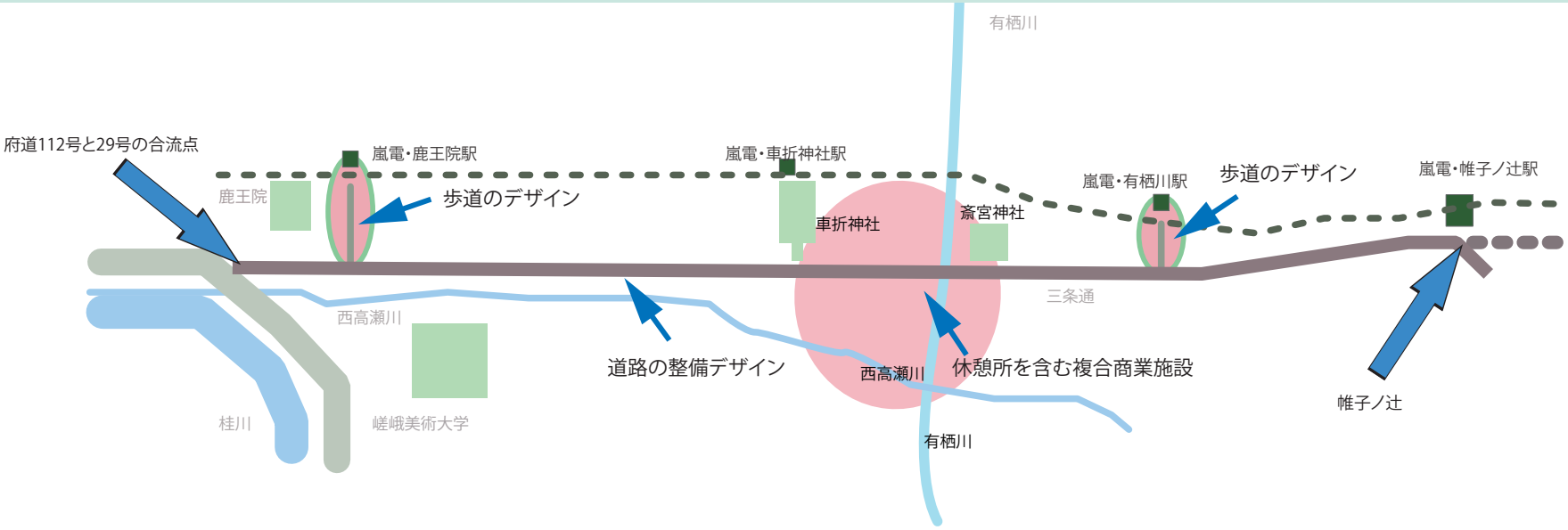
■ 蚕ノ社から広隆寺までは三条通りと離れて、広隆寺前のみ路面となる。

① 嵐電蚕ノ社～太秦広隆寺駅間の三条通りは「三条太秦繁栄会」という商店街。通りの自動車交通量が多くて、ゆっくり買い物が出来ない状態である。
何らかの交通規制および道路のデザインが必要。

■ 広隆寺前から三条通りと大映通り商店街の二手に分かれて、帷子ノ辻で合流する。

① 気持ちよく安全に歩くには「大映通り商店街」がよい。日本映画のメッカであった太秦の文化を受け継ぎながら、イベントなどを計画している。
天神川界隈~「三条太秦繁栄会」~広隆寺~「大映通り商店街」のより強い連続があると、人々の流れやにぎわいが促せる。
地区計画として取り組むべきである。

Ⓙ 嵯峨街道地区＜1.7km＞



■ 三条通りの交通量が多くて、歩行者の安全に問題がある。

① 歩行者が安心して三条通りを歩けるように道路舗装の整備をおこなう。

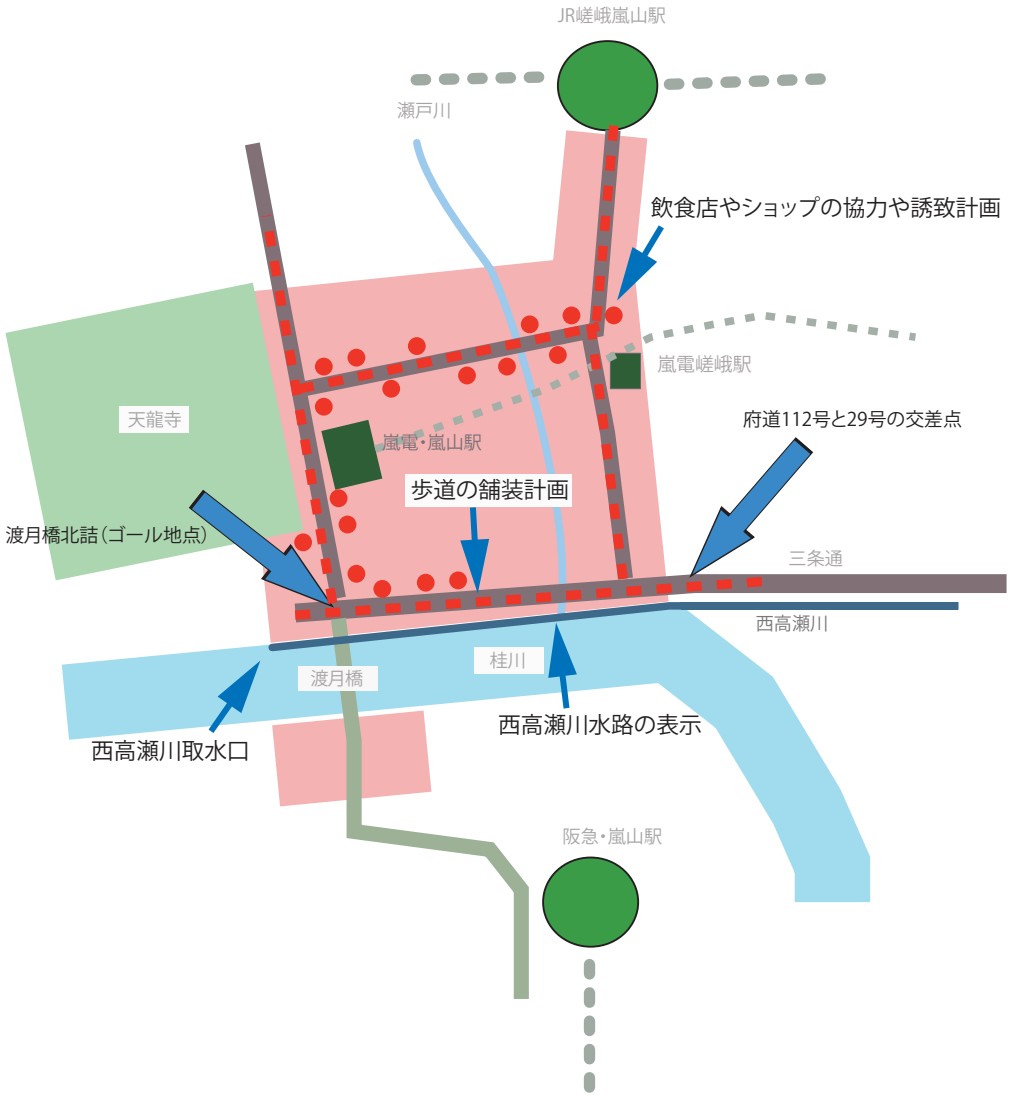
■ 嵐電の各駅との連結が重要。

① 車折神社駅と三条通りとは境内を通じて連絡が図れている。ユニークでこころが落ち着いて良い。
② 有栖川駅と鹿王院駅から三条通りまでは歩道のデザインなどで連携を計る。

■ この嵯峨街道地区には休憩スペースや公衆トイレが少ない。

①「車折神社」と「斎宮神社」と「西高瀬川と有栖川の交点」の三点を結ぶエリアあたりにカフェ、ショップ、休憩所などの複合の施設が望まれる。

Ⓚ 嵯峨・嵐山地区＜0.5km＞



■ 三条通りは渡月橋北詰で終点であるが、地区としては嵯峨・嵐山地区の観光エリア、またそのエリア内の「嵐山商店街」「嵯峨商店街」を含める。

① この地域の歩行者観光ルートのすべての歩道はインターロッキングなどの舗装が望ましい。

② この地域は宿泊客も多いので、夜間も安全に、快適に散策できる通りが必要。そのためには街灯の計画や夜間営業への飲食店、ショップの協力指導や新店舗の誘致計画が望まれる。

③ 渡月橋上流の取水口から西高瀬川へ繋がる水路の説明板が無い。標識などで 歩行者にわかりやすい表示が必要。近世の都市的遺産を大切にしたい。

・KDA 研究レポート 1

京都の通りをデザインする

■三条通りを中心とした新たな京都観光の姿

発行日：　2013 年 12 月 13 日

監　修：　大石　義一（三条通プロジェクト実行委員長）

発行者：　奈良　磐雄（公益社団法人京都デザイン協会理事長）

■調査・分析・提案

・三条通プロジェクト実行委員会

大石　義一
小川　富男
川口　翫正
小山比奈子
才門　俊文
永田　義博
奈良　磐雄
藤原　義明
古川加津夫
山岡　敏和　　(50 音順)

■調査・分析協力

藤田　始史
菊池　早奈
加藤　恵亮
鎌倉　可絵

・京都造形芸術大学
環境デザイン学科　学生有志

古屋 絵莉一　　吉野　緋紗
吉尾　史代　　丸岡　　翔
入交　健太　　柳川　周也
松尾　早紀　　宮本菜都美
中井　貴史　　榊　　洋平
森　　志浩　　上里　塊太
大澤祐佳里

公益社団法人　京都デザイン協会

〒604-8247　京都市中京区塩屋町 39
TEL 050-3385-8008　FAX 050-3385-8009